

2023年度事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

学校法人 大阪音楽大学

I 法人の概要

【1】 建学の精神

世界音楽並ニ音楽ニ関連セル諸般ノ芸術ハ之ノ学校ニヨッテ統一サレ
新音楽新歌劇ノ発生地タランコトヲ祈願スルモノナリ

【2】 学校法人の主な沿革

1915年（大正4年）	創立者永井幸次により、大阪市南区塩町（現、中央区南船場）に大阪音楽学校を開校
1926年（大正15年）	大阪市東区味原町（現、天王寺区味原本町）に移転
1948年（昭和23年）	大阪音楽高等学校開校
1951年（昭和26年）	大阪音楽短期大学開学
1954年（昭和29年）	豊能郡庄内町野田（現、豊中市庄内幸町）の現校地に移転
1957年（昭和32年）	附属児童音楽学園開設
1958年（昭和33年）	大阪音楽大学開学 大阪音楽高等学校を附属音楽高等学校に改称
1959年（昭和34年）	大阪音楽短期大学を大阪音楽大学短期大学部に改称
1966年（昭和41年）	音楽文化研究所開設（のちに音楽研究所に改組） 附属児童音楽学園を附属音楽学園に改称
1967年（昭和42年）	大学と短期大学部に各音楽専攻科設置 附属音楽幼稚園開設
1968年（昭和43年）	大学院音楽研究科開設 附属楽器博物館開設
1980年（昭和55年）	K号館竣工（音楽文化研究所、附属楽器博物館を移転）
1981年（昭和56年）	附属音楽高等学校閉校
1989年（平成元年）	ザ・カレッジ・オペラハウス開館
2000年（平成12年）	P号館（ミレニアムホール）竣工
2002年（平成14年）	音楽博物館開設（附属楽器博物館、音楽研究所などを統合して改組）
2003年（平成15年）	附属音楽院を開設（附属音楽学園を改組）
2004年（平成16年）	短期大学部を改組、新たにジャズ・ポピュラー専攻開設
2009年（平成21年）	短期大学部を改組、音楽科の下に11コースを置く
2011年（平成23年）	短大専攻科を音楽専攻の1専攻に改組

2012年（平成24年）	大学音楽学部作曲学科・声楽学科・器楽学科の3学科を廃止し、音楽学科1学科を新設、ジャズ・クラシックギター・電子オルガン専攻を開設、短期大学部音楽科にクラシックギター・ダンスパフォーマンスコースを開設
2016年（平成28年）	大学音楽学部音楽学科にミュージッククリエーション専攻・ミュージックコミュニケーション専攻を開設 100周年記念館（新K号館）竣工
2017年（平成29年）	音楽博物館を大阪音楽大学メディアセンター楽器資料館と改称 附属音楽院さくら夙川校開設
2018年（平成30年）	大学音楽学部音楽学科クラシックギター専攻をギター・マンドリン専攻に改称 短期大学部音楽科クラシックギター・コースをギター・マンドリン・コースに改称
2020年（令和2年）	短期大学部音楽科作曲コースと電子オルガン・コースを統合し、作曲デザイン・コースを開設 短期大学部音楽科ポピュラー・コースを改組し、ヴォーカルパフォーマンス・コース、ポピュラーインストゥルメント・コースを開設 附属音楽院さくら夙川校閉校
2021年（令和3年）	大阪音楽大学音楽学部音楽学科にヴォーカルパフォーマンス専攻、ポピュラーインストゥルメント専攻を開設
2022年（令和4年）	大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部が公益財団法人日本高等教育評価機構による大学・短期大学機関別認証評価受審の結果、「大学評価基準・短期大学評価基準に適合している」と認定 大阪音楽大学音楽学部音楽学科にミュージックビジネス専攻を開設
2023年（令和5年）	大阪音楽大学音楽学部音楽学科ヴォーカルパフォーマンス専攻とポピュラーインストゥルメント専攻改組し、ポピュラーエンターテインメント専攻を開設 短期大学部音楽科ヴォーカルパフォーマンス・コースとポピュラーインストゥルメント・コースを改組し、ポピュラーエンターテインメント・コースを開設 大阪音楽大学音楽学部音楽学科パイプオルガン専攻を募集停止

【3】 役員・教職員の概要

理 事

理事定数10～15人 理事の現員数10人

役職名	氏名	執務	理事就任(退任)年月日	主な現職・前職等
理事長	中村 孝義	常時執務	2001年9月7日	大阪音楽大学元学長・大阪音楽大学名誉教授
常任理事	岡野 幸義	非常勤	2012年10月1日	公益財団法人 太平洋人材交流センター 理事長

常任理事	十川 輝明	常時執務	2010年4月1日	(住友生命社会福祉事業団元常務理事)
常任理事	本山 秀毅	常時執務	2018年4月1日	大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部学長
常任理事	福井 慎吾	常時執務	2016年5月29日	(大阪音楽大学前事務局長)
理事	北野 徹*	非常勤	2010年6月30日	大阪音楽大学同窓会<幸楽会>会長
理事	熊谷 美紀*	常時執務	2022年4月1日	大阪音楽大学副学長
理事	角 和夫*	非常勤	2019年12月1日	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役会長 グループCEO
理事	永井 譲*	非常勤	1982年6月29日	大阪音楽大学元学長・大阪音楽大学名誉教授
理事	森岡 周平*	常時執務	2023年6月1日	大阪音楽大学事務局長
理事	森本 徹*	常時執務	(2023年5月31日辞任)	大阪音楽大学事務局次長

監 事

監事定数 2人

監事の現員数2人

氏名	執務	就任年月日	主な現職・前職等
水漉 征矢雄*	非常勤	2018年6月30日	(学校法人大阪音楽大学元常任理事・大阪音楽大学元教授)
青山 成夫*	非常勤	2021年7月1日	((公財)住友生命健康財団元常務理事)

評議員

評議員定数 21～31人

評議員の現員数22人

氏名	選任条項	就任(退任)年月日	主な現職・前職等(在任時)
石橋 栄実	法人職員	2020年5月29日	大阪音楽大学教授・付属音楽院長
井上 建夫	学識経験者	2018年6月30日	公益財団法人守山市文化体育振興事業団副理事長
江良 成人	法人職員	2022年6月30日	大阪音楽大学調査役/前連携・演奏事務部門長
大澤 弘之	卒業者	2022年12月22日	大阪成蹊大学教授、京都教育大学名誉教授
大田 美佐子	学識経験者	2022年6月1日	神戸大学大学院人間発達環境学研究所 准教授
小畑 有子	法人職員	2010年6月30日	大阪音楽大学付属音楽幼稚園園長
北野 徹	卒業者	2010年6月30日	大阪音楽大学同窓会<幸楽会>会長
久保 洋子	法人職員	2022年6月25日	大阪音楽大学教授
高 昌帥	法人職員	2021年9月20日	大阪音楽大学短期大学部副学長
児玉 祐子	卒業者	2021年4月1日	公益財団法人関西二期会理事
駒井 肇	法人職員	2020年5月31日	大阪音楽大学短期大学部教授
崎元 利樹	学識経験者	2022年6月30日	公益財団法人関西・大阪21世紀協会理事長
芝 道雄	学識経験者	2018年6月30日	ダイキン工業株式会社コーポレートコミュニケーション室シニアスキルスペシャリスト
下村 義和	学識経験者	2020年1月30日	元豊中市消防局次長 豊中市消防局再任用職員

田辺 恭久	学識経験者	2020年4月1日	住友生命保険相互会社顧問
鳥居 知行	法人職員	2022年5月30日	大阪音楽大学教授
林 紀夫	学識経験者	2022年6月30日	関西労災病院病院長、大阪大学名誉教授
本郷 卓	卒業者	2022年6月30日	滝川第二中学校・高等学校校長
松尾 徹	学識経験者	2013年12月1日	非破壊検査株式会社特別顧問
水谷 雅男	卒業者	2018年6月30日	大阪音楽大学同窓会〈幸楽会〉副会長
森岡 周平	法人職員	2023年6月1日	大阪音楽大学事務局長
森本 徹	法人職員	(2023年5月31日退任)	大阪音楽大学事務局次長
森本 友紀	法人職員	2022年6月30日	大阪音楽大学教授

役員賠償責任保険契約の概要

- ・被保険者：役員（理事・監事）及び評議員
- ・補償内容：役員及び評議員（被保険者）の行為に起因して、被保険者に対して損害賠償請求がなされた場合に、被保険者が負担する法律上の賠償金等を補償する。
- ・保険期間：1年間

責任限定契約の内容の概要

- ・私立学校法第44条の5が準用する一般社団・財団法人法第115条に定める及び本法人寄附行為に基づき、理事5人*及び監事2人*との間で、私立学校法第44条の2第1項の最低責任限度額をもって責任の上限とする旨の責任限定契約を締結している。

学長及び幼稚園長

大阪音楽大学学長	本山 秀毅
大阪音楽大学短期大学部学長	本山 秀毅
大阪音楽大学附属音楽幼稚園長	小畑 有子

【4】 設置する学校・学部・学科等 及び 入学定員、学生数の状況（在籍数は2023年5月1日現在）

●大阪音楽大学 音楽学部

学 科	入学定員	入学者数	3年次編入 入学定員	収容定員	在籍数	収容定員充足率
音楽学科	220人	236人	10人	900人	879人	0.98
計	220人	236人	10人	900人	879人	0.98

●大阪音楽大学 音楽専攻科

専攻	入学定員	入学者数	在籍数	定員充足率
作曲専攻	1人	0人	0人	0.00
声楽専攻	5人	6人	7人	1.4
器楽専攻	14人	11人	23人	1.64
計	20人	17人	30人	1.5

●大阪音楽大学 大学院

研究科	専攻	入学定員	入学者数	収容定員	在籍数	収容定員充足率
音楽研究科	作曲専攻	2人	1人	4人	2人	0.5
	声楽専攻	4人	6人	8人	10人	1.25
	器楽専攻	7人	11人	14人	21人	1.5
計		13人	18人	26人	33人	1.27

●大阪音楽大学短期大学部

学科	入学定員	入学者数	収容定員	在籍数	収容定員充足率
音楽科	100人	101人	200人	189人	0.95
計	100人	101人	200人	189人	0.95

●大阪音楽大学短期大学部 専攻科

専攻	入学定員	入学者数	在籍数	定員充足率
音楽専攻	15人	12人	12人	0.8

●大阪音楽大学附属音楽幼稚園

学年	定員	在園児数
3歳児3学級	105人	71人
4歳児3学級	105人	87人
5歳児3学級	105人	87人
計	315人	245人

II 事業の概要

本法人は、「中期事業計画（2021年度～2025年度）」を策定し、その重点推進項目を踏まえ、それぞれの領域において必要な目標を設定している。2023年度においては、各目標の達成と共に教育事業への経営資源集中に向けて、これまで継続して行ってきた事業についても見直しを行いつつ、学内の諸事業を計画、立案し、実践の活性化を図った。

中期事業計画における重点推進項目は以下のとおり。

①新たな成長戦略による収入確保

- ・新時代のニーズに対応した事業運営、ニューノーマル時代の学生募集活動

- ②事業の抜本的見直しによる支出削減
 - ・慣例やしがらみにとらわれず事業の在り方を見直す
- ③学修者本位の教育への転換
 - ・時代に対応した教育体系・手法の確立、教育の質・学生サービスの向上
- ④次世代を担う人材育成
 - ・本学の発展に寄与する将来を担う教員・職員の育成
- ⑤財務体質の健全化
 - ・教育活動資金収支・資産運用・資金繰りの適正化
- ⑥ガバナンス強化と社会に開かれた大学
 - ・各機能の実質・適正化、危機管理の強化計画、外部連携強化

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も収まり、コロナ禍以前の形で学事行事やイベントを実施、展開した。2022年度に開講した大学音楽学部の新専攻「ミュージックビジネス専攻」は2年目を迎え、既存施設をリニューアルするなどして学生の学びの場所の拡充を図った。これに伴い、楽器資料館は展示面積が縮小となり、一部の資料群を学内にて移転し、展示した。

また、新たに2024年度に開講することとした短期大学部音楽科音響照明コースにおいては、主担当員を中心に高校への広報活動を展開するなど、本コースの周知活動に尽力を図った。

キャリア支援センターでは、昨年度に引き続き、首都圏の音楽系企業への就職に対する関心を高めるための企業見学ツアーを実施するなど、東京ブランチを拠点とした支援活動の取り組みを行った。

演奏・実技系を中心とした学びに加え、エンターテインメントとしての音楽の学びをよりよい形で融合させることにより、新しい時代の音楽文化を担う人材を養成する音楽大学として運営環境、教育環境の再構築を図っていく。

以下 内は事業名を示す。

A 教育・研究事業

【1】大学院・大学・音楽専攻科・短大・短大専攻科

<大学院>

音楽研究科に音楽学研究室2人、声楽研究室9人、ピアノ研究室15人、管弦打研究室6人の計32人が在籍し、各研究室による修士演奏、修士論文の審査と口述試験の結果、作曲1人、声楽4人、ピアノ5人、管弦打4人の計14人が修了した。11月21日に大学院定期演奏会をザ・カレッジ・オペラハウスにおいて開催し、学生の研究成果である多彩なプログラムによって、本学大学院の質の高さを内外に示すことができた。2024年度入学者選抜については、20人が合格した。

<大学>

音楽学部音楽学科に879人が在籍し、169人が（うち12人は前期に）卒業した。卒業生の中から、最優秀賞7人、優秀賞16人、音楽・社会活動賞1人を表彰した。ヴォーカルパフォーマンス専攻とポピュラーインストゥルメント専攻を改組し、シンガーソングライティング・コース、ヴォーカルパフォーマンス・コース、ポピュラーインストゥルメント・コースからなるポピュラーエンターテインメント専攻を開設した。

新型コロナ感染拡大防止対策を徹底した上で、2023年度から全ての授業を対面で実施し、入学式、卒業式も通常通り開催した。

<大学音楽専攻科>

音楽専攻科に声楽専攻7人、器楽専攻23人（ピアノ13人、パイプオルガン1人、管楽器8人、弦楽器1人）の計30人が在籍し、全員が修了した。授業「音楽実践演習」の一環として、学生自らが企画・演出・出演する「オー

タムコンサート」を LIC はびきの（10月14日）、西宮市フレンテホール（11月11日）の2会場で実施し、社会における実践的活動を体験した。LIC はびきのでの公演ではタイトルを「音楽で巡る旅」とし、イタリア、ロシア、フランス、ドイツ、オーストリア、ブラジル、そして日本と様々な国を巡る曲目を多様な楽器編成や声楽アンサンブルで演奏し、変化に富んだプログラム構成の魅力的な公演となった。西宮市フレンテホールでの公演では、観客対象を幼児・児童の親子連れとし、良く知られた楽曲を演奏しながら行う様々な楽器の紹介、そしてディズニーメドレー、クリスマスメドレー等、幼児・児童が十分に楽しめる内容の公演となり、ホール管理者からも高い評価を得ることができた。

<短大>

音楽科に189人が在籍し、65人が（うち7人は前期に）卒業した。卒業生の中から、最優秀賞2人、優秀賞7人を表彰した。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上で、2023年度から全ての授業を対面で実施し、入学式、卒業式も3年ぶりに通常通り開催した。

<短大専攻科>

短大専攻科には12人が入学し、10人が修了した。在籍するすべての学生が自ら企画・出演する「コンサート・プロデュース」を7月12日にミレニウムホールで実施した。企画は工夫が凝らされており、学生たちにとって良い経験となった。

<キャリア関連>

入学式後に保護者対象のキャリア支援に関するガイダンスを実施し、進路サポートの内容や、近年の進路・就職実績の説明を行った。大学3年次生、短大1年次生を対象に進路ガイダンスを実施し、卒業後の進路について理解を深め、具体的な行動に移すための契機とした。また、企業就職志望者対象にMIRAIセミナーを15回実施(番外編3回含む)、自己分析・エントリーシート対策やSPI性格検査等を提供した。(参加者数は延べ187人)。

これらに加えて、進路に係る各種採用説明会を実施した。主に音楽教室（ヤマハ、カワイ、三木楽器等）の講師採用説明会や公立学校教員採用(大阪府、大阪府、堺市、豊能地区、兵庫県、神戸市)説明会を実施した。他にも多様な進路選択に対応するために、自衛隊音楽隊やパソナ音楽島、神戸市職員他の採用説明会を実施した。また、卒業生による懇談会キャリアトークの中で多様な進路を在學生に提示することができた。

こうした説明会等の他に、講座やセミナーを多数開催しており、韓国語講座、Illustrator & Photoshop 講座、教員採用試験対策として筆記試験及び模擬面接なども行った。音楽教室講師を目指す学生を対象として、ヤマハ音楽指導及び演奏グレード5級取得準備講座、音楽教室起業セミナーを開催した。

また、全保護者対象に本学のキャリア支援の取り組みに関するガイダンスと、社会で活躍する卒業生との懇談会を実施した。

キャリア支援センターでは、学生支援の柱の一つである定期学生面談を大学3年次生（5～6月）・短大1年次生（9～10月）を対象にリモート面談も交え実施した。この学生面談・相談は定期以外にも年間を通じ随時実施している。キャリア教育の一環であるインターンシップは、公共ホールや楽器店、音楽団体などの協力を得て年1回春期に実施し、マナー等の事前指導を行った上で13の企業・団体に延べ32人を派遣した。その他、一般企業へのインターンシップ希望者には、リクナビ、マイナビ等のセミナーを開催し情報提供を行った。

学長主導の教育改革

●要旨

従来から建学の精神や三つのポリシーに基づき教育課程のあり方を検討してきた取り組みに加えて、2020年以降コロナ禍の中で必要性が問われた事項を加えて、さらなる教育改革を推進した。

●成果及び達成度

過年度より実施している教員評価制度は、各教員による教育活動及び教育能力等についての自己評価を基に、学長、副学長、教育部長を構成員とする学長室会議において点検・評価を行うものであり、この制度を通して教育力の向上と人材育成に取り組んでいる。

また多様な学生を受け入れることにより生じる新たな課題について、リメディアル教育のシステムや学生のメンタル面をケアする体制の充実により学生に寄り添うための丁寧な取り組みを行っている。

卒業生の進路について一般企業への就職率の増加を受けてさらに充実したキャリア教育の必要性が問われている。キャリア事務部門を中心としたサポート体制に加えて、音楽専門教育との相乗効果を図りながら音楽大学の特質を生かしたキャリア教育を展開している。

「演奏を伴わない領域」としてのミュージッククリエーション専攻、ミュージックコミュニケーション専攻、ミュージックビジネス専攻の展開は、従来の音楽大学の既成概念を打ち破る将来を見据えた内容を包摂するものである。

●今後の展望

大学としての具体的な方針は以下のとおりとし、引き続き教育改革を推進する。

・目指す方向性

本学が継承してきた、音楽に対する見識や技術を高めること、世の中に認められる優秀な学生を育成することは堅固に維持しつつ、多様な学生に対応する基礎力の向上、学習支援の充実に努める。

・存在意義

社会に対する存在意義として「ちから強い音楽人」を育成、輩出することを掲げる。高い音楽性や技術はもとより、音楽に対峙する中で得られる忍耐力、集中力、創造力、協調性などを持つ人材を育成することに努める。

・在り方

新規に開設した専攻や開設予定の専攻が、伝統的な音楽教育から得られる成果と呼応、刺激しあうことにより、他の音楽専門大学には見ることのできない独自の成果を創り出すことが可能となり、その方向性が本学の将来の在り方を示すことになる。

ミュージックコミュニケーション専攻 年間イベント

●要旨

前年度に続き、「阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOT!」の中心的な演奏会である「ドリームコーラスコンサート」やフリンジイベントである「みんなのおと in 箕面」、ミュージック・シャベリバ!!「地域のために音楽を一地域密着型音楽人を迎えて-」、「オープンマイクパーク SP～秋のドンドコ祭り～」、「秋のクラリネット五重奏コンサート」、「カフェでめぐりあいそ～ね Vol.3」、「シヨコラ de コンサート～読書のお供に音楽を～」を開催した。また、豊中市文化芸術センターにおける有料コンサートとして「極～縦笛と横笛が織りなす調和（ハーモニー）～」を実施した。その他、同センターのロビー・コンサート、「心馬の新大正琴」、「こどもの本の森中之島」との連携コンサート等を企画立案した。さらに、「オープンマイクパーク@庄内」を野田中央公園等で実施した。

●成果及び達成度

専攻として、11月24日の「邦楽演奏会」、3月9日～11日の「ミュージカル・コース公演」の舞台マネジメントに携わった。また、国家資格である舞台機構調整技能士3級に1人が合格した。

●今後の展望

従来のミュージックコミュニケーション専攻の様々なイベントへの参加に加えて、地域創生の視点からの新しい活動により、専攻が活性化することを期待している。

ポピュラー学生ライブ

●要旨

学生が日頃の学修成果を発表する場として「ポピュラー学生ライブ」を開催する。また、「ポピュラー・ミュージック・コンサート」の前段階として学生が中規模のステージで演奏する機会を設ける。

●成果及び達成度

10月4日に本学ミレニアムホールにて開催した。大学2・3年、短大2年の学生が出演し、大学1年、短大1年の学生は、ステージを客席から観て学び、受付や照明係など裏方として支えた。ステージに立つための歌唱力・表現力はもちろん、「大きな舞台を成功させるんだ」という強い思い、更にメンバーとのコミュニケーション、ステージに立つ意味を理解することで、人間的成長だけでなく、人々を魅了し、広く影響を与えられる力の習得を目指した。

●今後の展望

今後も「ポピュラー学生ライブ」が、「ソリストとして今自分に何が伝えられるか」「自分の魅力をどれだけ表現出来るか」を再認識し、「お客様がいて下さるからこそこのステージ」との考えが、学生にとって一番成長出来る場となるよう努める。

eラーニングの導入

●要旨

昨年度に続き、総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者を対象に入学前教育として英語のeラーニングを実施した。この教材では「基礎からの英文法」「初級」「中級」「上級」の中から入学予定者が、自己申告により1つのコースを選択することとしており、今年度は「基礎からの英文法」と「初級」を選択する者が全体の75パーセントを超える結果となった。

●成果及び達成度

各コースの最終単元に到達する者は全受講者の30パーセントとなり、前年度の16パーセントを上回る結果となった。また、教材全体の半分程度まで学習を進める者についても38パーセントとなり、前年度の25パーセントを上回る結果となった。

●今後の展望

大学、短大のディプロマ・ポリシーでは、外国語の運用能力に基づき、異文化や文化の多様性を理解する姿勢を身につけることが入学後の目標となっているが、英語のeラーニングについては専門教育科目と同等の関心を示していないと思われる。外国語の重要性について、ディプロマ・ポリシーを含めての周知を学内で協議する。

作曲デザイン・コース「プリプロ・スタディ」

●要旨

短大作曲デザイン・コースの2年次生が、教員や助手の支援を受けながら就職活動や楽曲応募へ向けた制作に取り組む為の課外教育活動として実施している。授業課題の対応は対象外とし、あくまで将来へ向けた活動における楽曲アイデアの昇華や、制作中の作品のブラッシュアップ、レコーディングサポート、音楽活動へのカウンセリングなどに取り組むことを想定している。昨年度の稼働率は、50パーセントであったが、企業への開拓と募集情報の案件数を増やす等の取り組みの結果、今年度は70パーセントに上昇した。

●成果及び達成度

学生にとって、自身の作品を世に出し、採用されるまでのプロセスを体験する貴重な学びの場となった。本事業は学生に対する実技の現場指導だけではなく、作品を応募する先の情報も確保・提供しており、応募後の報告を義務付けることによって、活動の可視化につながった。

2023 年度プリプロ・スタディ受賞成果

- ・任天堂ゲーム「Fit Boxing feat.初音ミク」楽曲採用
- ・第二回 ISAC 国際作曲コンテスト特別賞（香港 iTunes チャートイン）
- ・MUSICY 講師採用
- ・High Five（ソニー）応募 3000 人の中から 10 人のファイナリストとして番組出演し作家活動開始

●今後の展望

本事業は、稼働数が増える→作品の応募数も増える→キャリアや実績へ（採用・入賞数が増える）の 3 段階で成長すると考えられ、第一段階の稼働数については来年度も学生数が増えることにより、更なる上昇が見込まれる。次の課題は応募数を増やすことであり、下記の取り組みにより、学生の積極的な姿勢を高め、応募活動へつなげる。

- ・卒業生の授業内招聘（テーマ：在学中～現在の職業作曲家になるまでのプロセス）。
- ・作曲事務所や大手ゲーム会社の特別講義により、応募への積極的な姿勢を指導。
- ・募集案件など情報収集の継続とその蓄積。

プロダクション「大音ラボ」の運営

●要旨

学生の実践的な学びや経験の場として、また大学と社会をつなぐものとして、ミュージッククリエーション専攻が主体となり、渡邊崇教員を中心にプロダクションを運営し、助手を運営の中核として事業を展開した。この事業は、学生が将来音楽で働くための実践的な活動の場を提供することを主目的とし、働くことの一面を経験することで学生自身がキャリア形成への関心を深め、卒業後のイメージの具体化に寄与することも目的に含まれる。

また、プロジェクトとして、企業・機関からの依頼による音楽制作など収支バランスを考慮した事業展開を行った。

●成果及び達成度

[クリエーション専攻プロジェクト] *音楽制作・ライブ等

- ・アニメ「バーンブレイバーン」音楽制作（学生 4 人・演奏員 27 人）
- ・Disney+ ドラマ劇伴レコーディング（学生 1 人・演奏員 6 人）
- ・養命酒 CM 音楽レコーディング（卒業生 2 人）
- ・「参福円算」音楽制作（学生 7 人）
- ・ミュージッククリエーション専攻内コンペコンピレーションアルバム 2022（学生 10 人）
- ・武蔵野美術大学コラボ企画（学生 3 人）
- ・JA バンク静岡 TVCM コンペ（学生 2 人）
- ・House of the owl 劇伴レコーディング（卒業生 13 人・外部 1 人）
- ・「KOYAMA」CM 音楽制作（学生 3 人）
- ・JA バンク静岡（年金）TVCM コンペ（学生 3 人）
- ・マリンスパあたま TVCM 音楽制作（学生 3 人）
- ・モクシー大阪本町ライブ（9月16日 4組、3月22日 3組）

上記以外にもミュージッククリエーション専攻では、「プロモフェスシンポジウム」にて 6 人の卒業生が登場（対面 5 人、オンライン 1 人）し、在学生と交流の機会を設けた。

[著作権管理]

㈱日音より印税の支払いがあり、著作者の学生及び卒業生へ分配を行った。

〔音楽配信事業〕

Daion Lab をレーベルとして 2019 年 5 月より音楽配信を開始している。

【2】国際交流

2023 年度は以下の 3 人が海外提携校留学助成金制度の適用を受け、海外の大学で学んだ。

- ・大学 3 年 ピアノ（演奏家特別コース） ゲトモルト音楽大学 （ドイツ）
- ・大学 3 年 ピアノ（演奏家特別コース） 王立ウェー ルズ音楽演劇大学 （イギリス）
- ・大学 3 年 ピアノ（演奏家特別コース） 王立ウェー ルズ音楽演劇大学 （イギリス）

本学学生の送り出しに対して海外提携校から留学生の受け入れはなかったが、ドイツのオスナブリュック応用科学大学よりジャズ・サクスを専攻している学生を来年度に本学へ送りたいとの打診があり、提携協定の締結に向けて協議を進めることとした。

【3】学生生活支援・福利厚生

2023 年度に学生相談室を来訪した学生は延べ 650 人であり、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、前年度よりも増加した。この相談室は授業において支援を必要とする学生が、学内の「居場所」として利用する事例も多く、日頃より心身をリフレッシュできる環境づくりに努めている。また、障がいのある学生の増加に伴い、常駐するインターカーに対して学生の修学上の支援について助言を求める機会が増えた。

奨学金に関しては、本学独自の制度である「大阪音楽大学奨学事業財団奨学金」の 2023 年度新規貸与者数は、大学 5 人、大学院 4 人、短大 2 人であり、合計 28 人となった。

【4】教員の研究活動

研究委員会を 11 回開催した。2023 年度に、研究助成の第 2 区分に該当する学術研究、芸術研究、研究成果公開のうち、芸術研究への申請が 1 件あり、助成を実施した。『大阪音楽大学研究紀要第六十二号』には、投稿された 7 本の原稿の査読を行った上で、論文 3 篇及び研究ノート 4 篇の掲載の決定に加えて、翻訳 1 篇を 3 月末にホームページに公開した。中期事業計画（2021～2025 年度）に基づき、学術機関リポジトリのコンテンツ公開に向けての準備を行った。科学研究費の採択に関しては、新規に非常勤教員が研究代表者として申請した 1 件（基盤研究 C）、専任教員が研究分担者として申請した 1 件（基盤研究 C）が採択された。その他、研究代表者として専任教員 1 人、非常勤教員 1 人、研究分担者として専任教員 1 人、専任嘱託教員 1 人、非常勤教員 2 人が過年度に採択されたテーマによる研究を継続している。

研究活動に関わる不正行為のうち、「ねつ造」「改ざん」「盗用」についての研究倫理教育を 10 月教授会で実施した。公的研究費に関わる不正行為防止の啓発活動を 5 月に学長室会議及び事務局会議、教授会、6 月に常任理事会で実施した。また、「不正防止強化月間」として 4 月及び 10 月に学内でポスターの掲示を行った。

文科省からの通知を受けて、研究倫理及び研究インテグリティについて体制を見直し、「利益相反マネジメントポリシー」及び「利益相反マネジメント規程」を制定した。

FD・SD活動の充実

●要旨

FD 総括委員会を 10 回開催し、2023 年度活動案に従い、FD フォーラムの開催、授業改善計画書、教員相互の授業見学、成績分布状況の把握、新任教員の研修制度、FD 講習会への参加について検討を重ねた。

●成果及び達成度

各部会から提出された2022年度FD活動報告書を基にしたFDフォーラムは6月と7月の教授会終了後に実施した。教員相互の授業見学は55件で28人の教員が行った。成績分布状況の把握は、2022年度成績分布状況データを基に行い、学修成果の点検・評価及び内部質保証の認識の共有に努めた。外部講師によるFD研修会は、「キャンパスハラスメント防止研修」をテーマとして2024年2月に実施した。今回は対面方式での開催とし、当日会場に來られない教職員にはポータルシステムを通じてパワーポイント資料を配信した。参加者は57人であった。

●今後の展望

各部会で実施したFD活動の発表と質疑応答を行うFDフォーラムは、書面だけでは分からないさまざまな活動を知る機会となるため、今後も報告書の作成と共に開催する。成績分布状況の把握・検証を引き続き行い、成績評価方法等の改善につなげる。新任教員の研修制度については、専任教員の研修制度の全学的取り組みを検討する。FD研修会は非常勤教員も含め広く認知されてきたがさらに参加を促すための方策を検討する。

【5】自己点検・評価体制

本学の自己点検・評価は、自己点検・評価統括委員会を中心として大学・短大の各教育課程における各種の運営会議や運営委員会において不断に実施している。具体的には、成績分布状況、学生満足度調査、各種入学者選抜、授業アンケート、卒業時アンケートの点検・評価を行っている。自己点検・評価の結果を、教育の向上に向けた取り組みに反映するように提案している。機関全体としての内部質保証を十分に機能させるため、新しい体制の構築を検討している。

自己点検・評価

●要旨

自己点検・評価統括委員会を中心として大学・短大の各教育課程における各種の運営会議や運営委員会において自己点検・評価を不断に実施する。成績分布状況、学生満足度調査、各種入学者選抜、授業アンケート、卒業時アンケートの点検・評価を行う。

●成果及び達成度

自己点検・評価を実施していくためにアセスメント・ポリシーの見直しを行う過程で、3つのポリシーも再検討することが明らかになったため、各種アンケートの設問も、新たな3つのポリシーに基づいて立てていくことになった。

入学者選抜時の評価と入学後の成績及び単位取得状況について、部分的に分析を行ったが、明確な相関は見られなかった。ただし、対象とした科目が入学者選抜時の評価と関連性が低い可能性もあり、多角的な分析が必要である。

●今後の展望

来年度からの新しい内部質保証体制の方針にもとづき、新たに設けるIR室と連携し、自己点検・評価を行い、その内容を内部質保証推進会議に報告し、自己点検・評価活動（特に内部質保証）の実質化をさらに推し進める。

学生による授業アンケート

●要旨

全学的な自己点検・評価活動の一つとして、ポータルシステムを利用してウェブ上で「学生による授業アンケート」を実施した。アンケートの回答率を高めるために、授業時間内に教員が指示することを徹底し、非常勤教員に対しては部会から告知した。

●成果及び達成度

大学・短大・大学院の全教育課程における前期の授業アンケートの回答率は60.02パーセント、後期は55.85パ

ーセントであった。昨年度に比べて、後期の回答率が約4パーセント上昇した。

●今後の展望

ポータルシステムを利用することによって、授業内に指示しても回答率が低い傾向にある。回答率を上げ、自由記述も積極的に行われるよう今後改善方を検討する。

授業改善計画書

●要旨

昨年度後期の「学生による授業評価アンケート」の集計結果をもとに、専任教員が担当する全科目（リレー授業等の一部科目を除く）と一部の非常勤教員が担当する科目について授業改善計画書を作成した。これら個別の授業改善計画書は講義・演習科目については教育課程別に、レッスン科目については教員別にまとめてCD-Rに集成し、同計画書を執筆した全教員に配付した。

●成果及び達成度

授業改善計画書の目的の一つは、各教員が授業の内容と実施方法を着実に振り返ることによって、改善への「気づき」をもたらすことである。また、同計画書をCD-Rに集成し、各教員に配付することによって、他教員の授業の状況や「気づき」を参照しやすくなり、それを各自の授業実践に反映させることを通じて、本学全体の教育の質向上に役立つことが期待される。なお、集成した授業改善計画書は、「学生による授業評価アンケート」に対するフィードバックとして、学生・教職員が自由に閲覧できるように、付属図書館、学生支援センター、教職員集会室等に配備した。

●今後の展望

今後も前年度後期の「学生による授業アンケート」の集計結果を基にした授業改善計画書の作成を継続する。現在、全専任教員に授業改善計画書の作成を義務付けているが、非常勤教員にも作成を促し、より充実したものにす

【6】音楽メディアセンター 附属図書館

2023年度における本学学生の図書館利用は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、前年度と比較した場合、18パーセント以上の向上が認められた。利用率をさらに向上させる取り組みとして、企画展示、イベントの実施及びアンケート調査の結果、学生からの要望が多い小説を主とする文庫本の購入を増やすこととした。これらの活動を経て、2024年3月31日現在の資料数は図書・楽譜を合わせて約115,436点、視聴覚資料は約54,800点となった。また、2月1日に私立大学図書館協会2023年度阪神地区協議会第2回研究会を当番校として、著作権をテーマに協会員限定のオンライン開催で実施した。

【7】音楽メディアセンター 楽器資料館

楽器資料館の運用

●要旨

これまでの資料館から、西洋楽器・和楽器展示室（K号館3階フロア、一部2階図書館入口前）、民族楽器展示室（D号館401教室）の2つの展示室への移転を完了し、新たな形態での運用を開始した。

●成果及び達成度

新たな運用方針に基づき、教員による研究の上での授業実施などに活用した。

●今後の展望

ひきつづき、授業での利用形態をはじめ、学生や外部への公開方法など、実状に応じた新しい楽器資料館の在り方を模索していく。

【8】 付属音楽幼稚園

2023年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に合わせ、マスクの着用に関して教職員等任意としながらも、前年に引き続き感染予防に努めながら保育を実施した。

在園児は、5月1日付で245人が在籍（3歳児3クラス71人、4歳児3クラス87人、5歳児3クラス87人）3月にはそのうち5歳児87人が卒園した。

2歳児親子教室「りんごクラブ」は、前期（5月～9月）3クラス（各クラス定員30組）の募集に40組の申込があった。なお、2024年度入園児（3歳児）56人中29人が「りんごクラブ」受講者であった。次年度も引き続き、より一層の園児獲得につなげていきたいと考える。

音楽教室「クレフ」（希望者対象のピアノ・ヴァイオリン・マリンバの3種の課外レッスン）は、6月1日時点で対象園児の50パーセントに当たる87人が在籍・受講した。

少人数制の音楽指導「Poco」

●要旨

「みんなで楽しむ音楽」を中心とした保育を目的として、年中児・年長児が少人数のグループに分かれ、専門講師と共にキーボード・ヴァイオリン・マリンバ（打楽器）をローテーションして体験する。前年度に引き続き、空気除菌器の導入や定期的な換気等の感染症対策を実施しながら、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い各講師のマスク着用等に関しては任意とし、年度初めよりレッスン室において、1クラス3～4人での指導を行なった。

●成果及び達成度

Pocoではヴァイオリン、キーボード、マリンバ（打楽器）の3種類を使用した。園児はその年齢や環境による理由からそれらの楽器を日常的に触れる機会は少なく、習い事として経験する子どもに関してもそれらの1種類であることがほとんどであるため、保育の中で経験できることは保護者にとっても満足のいく活動の一つと言える。

活動を通して技術の向上を目的とするのではなく、友だちと共に行う楽しさを感じたり、講師の援助により「できた！」という体験を通して達成感を味わうことをねらいとした。幼児期のそのような体験の積み重ねが個々の自信の素地となるため様々な活動に活かすことができた。また前年度に引き続き、保護者が参観する日を設けた。

●今後の展望

音楽幼稚園の特色となる事業であるため、引き続き広報活動を展開し、幅広くその活動を告知する機会をもつことを検討する。2023年度においてはコロナ禍以前の形態で、少人数制で年度初めから始めることもでき、保護者参観の機会を設ける等、保護者に向けて事業内容を周知する取り組みを行うことができた。今後は楽器を園児が楽しむだけでなく、園児たちの演奏を聴く参観・イベント等の集会の機会を増やし、その結果、音楽に関心を抱く家庭からの入園志望につながると同時に、課外事業である音楽教室「クレフ」の受講生の増加につながるものとする。

B 社会連携活動事業

【1】 アドミッション事業

大学及び短大で総合型、学校推薦型、一般、後期総合型の4種類の入学者選抜を、また大学院、大学音楽専攻科、大学3年次編入、短大専攻科でもそれぞれ入学者選抜を実施し、全ての入学者選抜を適正に終えることができた。学生募集広報関連として、オープンキャンパスや体験レッスン、セミナー、ワークショップ、外部施設での無料体験レッスンなどの各種イベントを年間を通して開催した。

オープンキャンパスの開催

●要旨

各専攻・コースの教育内容や指導者、施設等の充実した教育環境、入学者選抜制度、在学生の状況等重要な情報を伝える機会として、「トライアルレッスン」（本学教員による無料体験レッスン）と合わせて、「オープンキャンパス」を実施する。

●成果及び達成度

6月は110件（178人）、7月は101件（177人）、12月は113件（199人）、3月は140件（226人）の参加者があった。予約制を採用していることもあり、参加者の熱意もより高く感じられた。また、12月からは「学食体験」や「全専攻コース対象のソルフェージュのイベント」を、3月には「全専攻コース対象の教職課程のイベント」を実施し、受験を目指す高校生に広く本学の魅力を伝えることができた。

●今後の展望

参加者の増加を目指し、さらなる受験生の確保に向けた貴重な機会とするため、「イベント内容の充実」を今後の重点課題とする。参加者が本学の教育を体験できる内容を多く取り入れ、充実した教育環境や取り組みの認知度を高める機会にする。また例年同様、資料請求者への資料送付、高校への周知、高等学校教員への個別案内、SNSでの発信によって資料請求者以外への周知を高める。

専攻・コースイベント

●要旨

専攻・コース別にイベントや出張授業等の入試広報活動を展開する。今年度は新たに①「This is 大阪音楽大学」と②「音響照明コース設置に伴う入試広報活動」を追加する。①は大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀の楽器店や音楽教室と連携して、ピアノ、声楽、管弦打楽器等の体験レッスンとミニコンサートを実施し、近畿圏の志願者増加に努める。②は新コースを周知するために、コース独自のオープンキャンパスや高校での模擬授業参加等のイベントを開催し、新たな志願者層の開拓に努める。

●成果及び達成度

専攻・コース別に予定していたイベントは計画通りに終了し、本学の魅力を発信するよい機会となった。今年度新たに追加した①については、8店舗にて9回のイベントを行い、125人の受講生が参加し、その中から25人が、2024年度4月に入学している。②については12回のオープンキャンパスを行い延べ151人の受講生が参加し、高校での模擬授業は34回実施した。これにより学内で実施しているイベントに参加できなかった高校生にも本学の魅力を伝える機会となった。

●今後の展望

各専攻・コースの充実した教育内容や指導教員、施設等の教育環境、在学生の状況を伝える重要な情報提供の機会となるよう来年度以降も継続して実施する。

演奏領域での「セルフプロデュース」をふまえた DAION PIANO

●要旨

2024年度に開講する演奏領域での「セルフプロデュース論」授業のために、2023年度は、ゲスト招聘によるイベントを開催することにより、新しいピアノ専攻・コースのブランディングを目指し、新たな志願者層の開拓に努める。

●成果及び達成度

カシオ計算機株式会社や株式会社アップステアーズ等からキャスティングや物的にも支援を受けて、キックオフイベントに加え、前期3回、後期3回の特別講義を無料で開講し、全イベントのレポートをWebマガジン（広報誌）MUSEに掲載した。演奏領域として日本ではめずらしい「セルフプロデュース」授業への布石としては、十分すぎる内容となった。

●今後の展望

当該事業の取り組みが功を奏し、新年度開講の「セルフプロデュース論」授業への学生たちの期待は大いに高まっていることから、より多くの学生が当該授業を受講するよう促したい。日本の音楽大学としては画期的な内容の授業がスタートする。

【2】対社会事業

<社会連携関連>

連携支援センターでは、大学の教育研究活動の一端を地域社会に還元することを目的として、地方自治体・公共団体・自治会・公民館・ボランティア団体・一般企業等さまざまな分野の団体と連携を結び社会貢献活動を実施している。当センターの連携関係事業は、大きく分けて社会学連携事業、公開講座、依頼演奏に分類することができる。

・地域社会との連携

①豊中市が主催の「第8回豊中音楽コンクール」について募集定員を上回る多数の応募があり、6月に予選、7月に本選を、感染防止対策を十分に行い、参加者、関係者より体調不良者が出ることなく実施できた。また、豊中中央ライオンズクラブ及び豊中市、豊中市教育委員会との共催で「第11回豊中子ども音楽フェスティバル」をコロナ禍前の規模に戻して実施した。

②寝屋川市との包括連携協定により、市主催事業の「アルカスピアノコンクール」へ審査員紹介を行った。

・学校間の連携事業

①学校法人常翔学園と学校法人大阪音楽大学が連携協力に関する協定を締結し、連携協定記念プロジェクトの一環として、毎月第2土曜日にロビー・コンサートを開催した。

②関西学院大学と大阪音楽大学の単位互換に関する協定に基づき、本学と関西学院大学の間で単位互換を実施した。

③学校法人大阪成蹊学園と学校法人大阪音楽大学が連携協力に関する協定に基づき、大阪成蹊女子高等学校オープンスクールへの講師・奏者の派遣や正課レッスン、ミュージカルワークショップを実施した。

④奈良県立高円芸術高等学校との教育交流に関する連携協定

相互の教育交流を通じて高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲高める活動の一環として、正課授業（吹奏楽）に年間通して本学教員を派遣した。また、本学と高円芸術高等学校との共催イベントとして、2023年6月10日（土）に合唱講習会を開催した。

⑤京都市立京都堀川高等学校との高大連携事業

京都堀川音楽高等学校の音楽教育・学習の充実を図る為、声楽専攻生徒（全学年）を対象に、声楽のディクシオン授業を提供した。

・公開講座

豊中市、高槻市、羽曳野市等、自治体と連携協力して提携講座の実施や講師派遣等を行った。

①豊中市：中央公民館との共催による大学開放講座「音楽・心の旅」

②高槻市：けやきの森市民大学 大阪音楽大学公開講座「音楽の宝石箱」

③羽曳野市：はびきの市民大学 講座への講師紹介

・依頼演奏

地方自治体、公共団体、公益法人、ボランティア団体、学校、企業及び個人等から多数の演奏依頼を受け、一定の演奏水準を保ちつつ卒業生支援の一環として、演奏者の手配・派遣・紹介等マネジメント業務を行っている。これは卒業生の活躍の場を確保するとともに大学の広報活動の一翼を担った事業でもある。また近年は、在学生でも特に優秀な個人やグループに演奏を依頼し、実地研修の場として活用している。今年度は新型コロナウイルス感染症による影響がほぼ無くなり、申込件数が31件となり、昨年度と比べて大幅に増加した。

DAION 座ワークショップ&コンサート&レッスン

●要旨

DAION ミュージカル研究会会員が中心となり、外部団体から依頼のある「ワークショップ」や「コンサート」を実施する。広く DAION 座の存在を周知し、将来、大阪発の創作ミュージカルを上演する際には、芸術面だけでなく、経済的な成功も目指し、本学の名声を高めることにもつなげる。上演に備え、講師を招いて DAION ミュージカル研究会会員らの技術を高めるためのレッスンを有償で行い、運営費の一部に充当する等、収支バランスを考慮した事業展開を行っている。

●成果及び達成度

今年度は、昨年度に引き続き通常実施しているレッスン、ワークショップ等を行った。さらに、初めての DAION 座自主公演を開催した。事業等の詳細は以下のとおり。

□レッスン

DAION ミュージカル研究会会員らの技術を高めるため、講師を招き年間を通してほぼ毎月実施。

□公演：DAION 座シアターvol.1

日程：2023年12月10日（日） 昼公演：13時30分～ / 夜公演：17時00分～

場所：常翔ホール

来場者数：昼公演：124人 / 夜公演：88人

公演後のアンケートからは観客の満足度の高さがうかがわれ、DAION 座の存在を多くの方に知ってもらう良い機会となった。収支面、運営面での課題を整理し、広報的価値の考察なども行い、次回以降の公演計画に活かしたい。なお、この公演は「阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOT!」の参加公演として、常翔ホールからの協力を得た。

●今後の展望

2024年度は、第2回DAION座自主公演を2024年8月に、ミレニアムホールでの実施を予定している。

ミュージッククリエイション専攻卒業作品発表会

●要旨

ミュージッククリエイション専攻卒業作品完成披露会「MUSIC CREATION AWARDS 2023」を、2024年2月18日（日）にミレニアムホールで開催し、卒業年次の当該専攻生のうち、出演を希望した学生11人が、各自で制作した「セルフプロデュースアルバム」をプレゼンテーション（歌唱、演奏等）した。オーケストラ、EDM、バンドミュージック、アイドルソングなど多岐にわたる内容であった。映画監督の中野量太氏、他5人の審査員により、5つの賞を選定・表彰した。また、音楽関連企業から16人を招待した。当日は一般の方の入場も可能とし、かつ、定点カメラ映像を専攻公式 Instagram から生配信した。また、ダイジェスト版を専攻公式 YouTube から配信する予定である。

公演終了後に学生と審査員、招待した音楽関連企業の方、教職員での交流会を行った。

●成果及び達成度

出演学生にとって、大学での学びの成果を発表して世に問う、意義ある機会となっている。また、自身の音楽と社会との接点を知るケーススタディとして、卒業後、更に活躍するための重要な体験とすることができている。審査員や招待鑑賞者（音楽関連企業の方）及び将来の志願者層を含む社会全体に対しては、当該専攻における学びの幅広さと、深さを知っていただく良い機会になっている。また、交流会においては各立場間での交流を深めることに成功しており、当該専攻を取り巻く様々な環境での好循環を生む場として有効に機能している。

●今後の展望

当該専攻の卒業年次生のための重要な成長の機会及び成果発表の機会として、キャリア支援の観点から有効であ

り、また、本学と音楽関連企業をはじめとする社会全体とのつながりの場としても価値が高いため、専攻教員によるブラッシュアップを加えながら今後も継続して実施する。

キャリア支援センター東京ブランチ就職支援事業

●要旨

前年度から継続して東京ブランチに専任事務職員 1 人を配置し、企業訪問等による情報収集、業界との関係構築、在学生に向けた首都圏就職の意識付けを推進した。音楽・エンターテインメント業界に多くの人脈があり、就職指導のノウハウを持つ法人に、前年度から継続して業務を委託し、学生の就職支援についてアドバイスを得るなどした。

学生による首都圏の音楽系企業見学ツアーを計 2 回開催した。また、首都圏在住の卒業生と、在学生の懇談会、首都圏企業による企業説明会を開催した。メールマガジン等により、在学生に向けて首都圏の音楽・エンタメ業界の情報を発信した。

●成果及び達成度

年間を通して、専任事務職員により首都圏の音楽・エンタメ業界関係者を訪問またはオフィスにて接応し、情報収集と関係構築を行った。8月及び3月に開催した「音楽系企業見学ツアー」(1泊2日)には、合わせて24人の学生が参加。訪問したり講義を受けたりした企業は10社で、学生にとっては、首都圏の音楽・エンタメ業界を直接知り、将来のイメージを膨らますことができる貴重な機会となった。特に3月開催時には首都圏在住の本学卒業生12人との交流の場を設け、首都圏をより身近なものとして捉えさせることが出来た。

●今後の展望

本学に2016年度以降開設した新専攻・コース群の学生比率が次第に増加するにあたり、必然的にその卒業後の就職先として、首都圏に拠点を置く企業を選択肢に入れる者の比率は増加すると考えられる。これまでにキャリア支援センター及び東京ブランチで得た知見を活用し、適切な経営資源配分の下で、効率良く、情報収集と学生支援を行っていく必要がある。

サウンドスクール

●要旨

サウンドスクール事業は、豊中市との包括連携協定に基づき、豊中市教育委員会と連携して「音楽あふれる学校園づくり」をテーマに、2006年から事業を展開。主に豊中市立のこども園・小学校・中学校へ、授業支援、出張演奏、クラブ活動支援、伝統音楽の普及といった活動を実施している。

実施件数は、こども園12件、小学校59件、中学校16件、義務教育高校6件、実施日数は、こども園12日、小学校62日、中学校29日、義務教育学校7日、延べ722人の学生(卒業生・教員・演奏員を含む)を教育現場へ派遣した。

●成果及び達成度

2023年度はコロナ禍以前に戻り、吹奏楽楽器別講習会も復活した。ピアノ独奏、ヴァイオリン独奏(ピアノ伴奏あり)、サクソフォーン四重奏、弦楽四重奏、金管五重奏、打楽器アンサンブル、邦楽アンサンブル(箏・三味線)、箏講習会を、6月から翌年3月まで実施した。コロナ禍で生の音楽を聴く機会が減少していたこどもたちに生きた演奏を届けることができ、児童、教職員ともに好評だった。実施したすべての学校より、教育活動への効果について、前年度同様、良い評価を頂いた。昨年度より実施回数、実施日数、派遣者数ともに増加した。

●今後の展望

サウンドスクールの教育効果を周知し、今年度の応募件数を維持する。また、SNSなどを活用し、サウンドスクール活動を随時配信する。中学校の楽器別指導など、吹奏楽の指導に関しても積極的に取り組んでいく。

豊中音楽コンクール

●要旨

豊中音楽コンクールは、2015年度から豊中市と共催で、2019年度より豊中市主催として、「次代を担う優れた演奏家を発掘・育成し、音楽文化の振興を図ることを目的」として設立されたクラシック音楽コンクールで、本学は2019年度より運営を委託されている。6月17日（土）・18日（日）に予選、7月2日（日）にザ・カレッジ・オペラハウスで本選を行った。部門は高校と大学・一般があり、それぞれにピアノ、声楽、管楽器、弦楽器の各部門を設け、定員は各30人、審査員は本学教員と学外の著名な演奏家の方々に依頼して行った。上位入賞者は、その年の秋にザ・カレッジ・オペラハウスで開催する「豊中音楽コンクール 受賞者記念コンサート」に出演することができる。また、高校声楽部門入賞者で条件を満たした者（1人）は、大阪府高等学校音楽教育研究会より「瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール」の大阪府代表として推薦を受けられる。

●成果及び達成度

コロナ禍が明け、高校の部100人、大学・一般の部113人という、多数の応募があり、コンクールとしての知名度は着実に向上している。

●今後の展望

同コンクールは、豊中市主催のもと、2024年6月23日に予選、7月2日（日）に本選を開催することが決定している。審査員は学外の著名な演奏家の方にも依頼することができたため、全国に開かれた音楽コンクールとして、また、若き才能の持ち主達の登竜門としての地位を確立したい。また、次回からは高校生部門のみの開催となり、当該コンクールのコンセプトが明確化される。

豊中こども音楽フェスティバル

●要旨

豊中中央ライオンズクラブ・豊中市・豊中市教育委員会・大阪音楽大学が連携し、9月下旬～10月上旬に実施する。内容は、コンテストで優秀な成績を収めた豊中市在住の中学生・高校生によるソロや、同市内で活躍する中学・高等学校吹奏楽部の演奏及び同市内中学・高等学校を卒業し本学在学の学生の演奏を行い、音楽を通じてこどもたちの感性を育むことを目的に毎年実施している。

●成果及び達成度

本学と豊中市内中学・高等学校との連携の強化と、「音楽あふれるまち・とよなか」を市民の皆様へアピールすることが出来た。また、来場者の多くがこども連れであり、たくさんの子供たちが生の音に触れる機会となった。

●今後の展望

今後はサウンドスクールで演奏している本学の学生や、小編成のグループなど、大編成の吹奏楽に限らず、様々な音楽ジャンルを取り入れ、文化芸術活動に取り組むこどもたちの発表の場として、こどもたちの目標となる演奏会を目指し、また、舞台芸術の鑑賞の機会として浸透するよう運営する。

【3】オペラハウス事業

本格的なオペラ公演のできるホールとして建設されたザ・カレッジ・オペラハウスは、「新音楽、新歌劇ノ発生地足ラン」という建学の精神に謳われている創立者の大志を実現すべく、これまで多数のオペラ公演を行い、関西、否日本有数のオペラ発生地として、文化庁芸術祭において「芸術祭大賞」を実に三度も受賞したのを始め、モービル音楽賞（現、ENEOS音楽賞）の本賞や三菱UFJ信託音楽賞の本賞を受賞するなど、創立者の夢を着々と実現するとともに、社会からも高い評価を得てきた。

本学の創立100周年目に当たる2015年度に、「創立100周年記念オペラ」と銘打って、ヴェルディ唯一の喜劇作品と言えるオペラ「ファルスタッフ」を上演し、これを契機にオペラハウス主催オペラ公演の在り方を見直し、2017

年度から井原広樹、栗國淳、岩田達宗の3人の客員教授を年替わりで演出に起用し、3年にわたる「ディレクターズ
チョイス」シリーズとして主催オペラ公演を行うことを決定した。2017年度は井原広樹演出、牧村邦彦指揮で、モ
ーツァルトの《偽の女庭師》を上演、2018年度は栗國淳演出、森香織指揮でメノッティの《テレフォン》《泥棒と
オールドミス》を上演、そして、同シリーズの掉尾を飾る2019年度は岩田達宗演出、牧村邦彦指揮でベッリーニの
《カプレーティとモンテッキ》を上演し、いずれも高い評価を得た。2020年度は、2014年に上演して文化庁芸術祭
で「芸術祭大賞」を受賞した「鬼娘恋首引」と「カーリユー・リヴァー」の2作品を井原広樹演出、牧村邦彦指揮
でキャストや演出の一部に手を入れて上演する予定であったが、2020年から世界的に猛威を振るっていた新型コロ
ナウイルスの影響で中止となった。

その後もコロナ禍の影響が続き、環境的にも、経済的にも厳しい状況の中で主催オペラ公演は一旦休止を決定し
た。但し、オペラの灯をともし続ける重要性和使命を念頭に、セミステージ形式での実施も含めて検討し、その結
果、2021年度は、オペラハウス管弦楽団定期演奏会のプログラムの中で新たな形でのコンサート・オペラとしてヴ
ォルフ＝フェラーリの「スザンナの秘密」を井原広樹演出、牧村邦彦指揮で上演した。キャストも少なく舞台上の
道具も簡易ではあったが大変見ごたえのある公演で好評を得ることができた。2022年度は、関西初演となるハイド
ンのオペラ「無人島」を上演した。井原広樹の知恵を絞った演出、牧村邦彦によるオペラを知悉した熟練の棒で、
本学出身の中堅歌手たちの魅力を存分に引き出し、セミステージの形式とは思えない舞台を作り上げることができ
た。2023年度は、モーツァルト作曲歌劇「劇場支配人」とサリエリ作曲歌劇「はじめに音楽それから言葉」を、両
曲の作曲の経緯から掘り下げ上演した。前半は、劇の進行内容をおおよそ理解してもらいながら、モーツァルトの
オペラを知り尽くした牧村邦彦指揮するザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団の的を射た好演と、マダム・ヘルツ
役の端山梨奈やジルバークラング役の村岡瞳、さらにはフォーゲルザンクを演唱した中川正崇やブッフ役の湯浅貴
斗の非常にこなれた味わい深い演技や歌唱により、改めてモーツァルトの音楽の素晴らしさを味わっていただくこ
とに成功した。また、後半のサリエリでは、セリア歌手エレオノーラ役の老田裕子やコミック歌手の村岡瞳の好唱
もさることながら、本学大学院を修了後、新国立劇場オペラ研修所にて研鑽を積んだ、マエストロ役の湯浅貴斗と
台本作家役の仲田尋一の二人の新進歌手が、長大なセッコを見事に歌い切る圧倒的な演唱を見せ、聴衆に深い感銘
を与えた。今後も、この形式での実施の可能性を探り進めていく考えである。

一方、オペラハウスは教育、研究の成果発表の場として、また学校法人として様々な催事の会場として広い用途
にも活用されており、年間催事総数は97件、総入場者数は18,816人、総稼働日数は209日にも及んでいる。

また、付属のザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団は、京阪神地域を中心に7件12回の依頼演奏を実施し、特に
様々な団体のオペラ公演には欠かせない存在になっている。2023年度には、「舞台芸術等総合支援事業」—学校巡
回公演事業—を担い、大阪、兵庫、京都、奈良、和歌山、岡山、島根、広島の2府6県で巡回公演事業を実施し、
ワークショップや演奏会を計15校17回開催した。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第62回定期演奏会

●要旨

管弦楽団単独のステージコンサートとして演奏会を開催した。

日時：2023年6月24日（土）17時開演

会場：ザ・カレッジ・オペラハウス

指揮：栗辻 聡

独奏：山崎 奏律（フルート）

曲目：C.M.v.ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲

W.A.モーツァルト／フルート協奏曲 第2番 ニ長調 K.314

J.ブラームス／交響曲 第4番 ホ短調 作品98

●成果及び達成度

プログラム構成の中に協奏曲を取り上げ、独奏者を大学院生の中からオーディションにより選抜された優秀な学生を出演させることで、大学院教育の充実に貢献するという目的を達成することが出来た。また、演奏会全体を古典のプログラムにすることで統一感を持たせることが出来た。

●今後の展望

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団運営方針の改定趣旨に従い、コアメンバーに主催演奏会でステージ演奏の機会を与え、より多くの曲目経験を積ませることでメジャーオーケストラの採用オーディション受験のための実力を付けさせることや、オーディションを通過した優秀な大学院生にオーケストラ伴奏での協奏曲演奏の経験を積ませることを継続していく。また今後は、オペラハウス管弦楽団の特色を生かしたプログラム作りも検討課題とする。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第63回定期演奏会

●要旨

演奏会形式（セミステージ形式）のオペラとして2演目を定期演奏会で開催した。

日時：2023年11月5日（日）14時開演

会場：ザ・カレッジ・オペラハウス

指揮：牧村 邦彦

演出：井原 広樹

演目：① W.A.モーツァルト／歌劇「劇場支配人」

② A.サリエリ／歌劇「はじめに音楽、それから言葉」

キャスト：① 端山 梨奈、村岡 瞳、中川 正崇、湯浅 貴斗

② 湯浅 貴斗、仲田 尋一、老田 裕子、村岡 瞳

●成果及び達成度

演奏会形式（セミステージ形式）を取ることににより、限られた予算枠内でオペラ公演を実現し、比較的上演機会の少ない作品を取り上げるというオペラハウスのコンセプトも達成することが出来た。また、芸術文化振興基金及び、公益財団法人3団体から助成金を得ることが出来た。

●今後の展望

通常オペラ公演開催は今後も大変困難な状況である。2024年度についてもオペラハウス管弦楽団定期演奏会として、後期に演奏会形式のオペラを開催する予定である。

●公的助成・民間助成について

当公演は、日本芸術文化振興基金、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人花王芸術・科学財団及び公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団より助成金を受けている。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団出張演奏

●要旨

オペラ制作団体等の外部団体からの依頼により出張演奏を実施し、収益事業としている。また、学校法人の広報活動の一端も担っている。

●成果及び達成度

2023年度は8会場12公演の出張演奏を受託し公演を行った。主催者とは度々綿密な打ち合わせを行い全公演滞りなく実施することが出来た。

① 2023年7月8日：英国ロイヤルバレエ団2023年日本公演（姫路公演）「ロイヤル・バレエ・ガラ」

指揮／Kuhn Kessels、プリンシパル／平野亮一 他（アクリエひめじ）

- ② 2023年7月15日：LA FENICE 第12回演奏会「ドイツ・レクイエム」
指揮／本山 秀毅、独唱／山田 知加 他 （東大阪市文化創造館 DreamHouse）
- ③ 2023年10月8・9日：第32回みつなかオペラ「フィガロの結婚」
指揮／牧村 邦彦、演出／井原 広樹、キャスト／並河 寿美 他 （川西市みつなかホール）
- ④ 2023年12月8・16日：藤原歌劇団「ラ・ボエーム」①②
指揮／柴田 真郁、演出／岩田 達宗、キャスト／藤田 卓也 （①フェニーチェ堺、②レクザムホール）
- ⑤ 2023年12月27・28日：東京バレエ団「くるみ割り人形」①西宮公演、②津公演
指揮／Philip Ellis、プリンシパル／涌田美紀 他 （①兵庫県立芸術文化センター、②三重県文化会館）
- ⑥ 2024年1月6日：東京バレエ団「くるみ割り人形」滋賀公演
指揮／井田 勝大、プリンシパル／秋山 瑛 他 （滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール）
- ⑦ 2024年2月10・11日：日本オペラプロジェクト2024「卒塔婆小町」「赤い陣羽織」
指揮／牧村 邦彦、演出／茂山 千三郎、キャスト／中川 正崇 他 （兵庫県立芸術文化センター）
- ⑧ 2024年2月16日：ムーンショット目標9 Edutainment コンサート
指揮／西本 智実、金 正奉 （クレオ大阪中央）

●今後の展望

昨今の経済状況等の影響や関西のオペラ等各制作団体の運営環境の変遷により依頼演奏の受注件数は減少傾向にあるが、オペラ公演等において演奏の質をより高く維持することで依頼演奏の受注数を増やせるよう努める。

文化庁巡回公演事業

●要旨

令和5年度「舞台芸術等総合支援事業」－学校巡回公演事業－

全国各地の小学校・中学校を訪問し一流の文化芸術団体による巡回公演を実施し、子供たちに優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、彼らの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としている。

●成果及び達成度

オペラハウス管弦楽団では、2023年度大編成のA区分は7校9公演、小編成のC区分では8校8公演、合計15校17公演の巡回公演を実施した。

《日程、区分、指揮、歌・司会》

《A区分》

- ① 9月5日：兵庫県尼崎市立塚口小学校
- ② 9月6日：兵庫県西宮市立高木北小学校（2回公演）
- ③ 9月7日：兵庫県三木市立平田小学校
- ④ 9月8日：兵庫県三田市立富士小学校
指揮／井村 誠貴
歌・司会／内藤 里美・迎 肇聡
- ⑤ 11月17日：京都府南丹市立胡麻郷小学校
- ⑥ 11月21日：兵庫県太子町立太田小学校（2回公演）
- ⑦ 11月22日：兵庫県赤穂市立赤穂小学校
指揮／牧村 邦彦
歌・司会／端山 梨奈・迎 肇聡

《C区分》

- ① 6月8日：兵庫県神戸市立北須磨小学校
指揮／牧村 邦彦
歌・司会／迎 肇聡
- ② 9月20日：岡山県岡山市立瀬戸中学校
- ③ 9月21日：島根県雲南市立海潮中学校
- ③ 9月21日：島根県雲南市立海潮小学校
- ④ 9月22日：広島県北広島町立大朝中学校
- ④ 9月22日：広島県北広島町立大朝小学校
- ④ 9月22日：広島県北広島町立新庄小学校
指揮／齋藤 友香理
歌・司会／迎 肇聡
- ⑤ 10月17日：和歌山県紀の川市立川原小学校
- ⑥ 10月18日：奈良県野迫川村立野迫川小中学校
- ⑦ 10月19日：奈良県宇陀市立室生小学校
指揮／栗辻 聡
歌・司会／迎 肇聡
- ⑧ 1月24日：兵庫県神戸市立北山小学校
指揮／牧村 邦彦
歌・司会／内藤 里美

●今後の展望

2023年度から学校巡回公演事業の所管が文化庁から独立行政法人日本芸術文化振興会に変わり、また、2025年度から巡回公演事業の運営形態が大きく変わるにより申請条件が厳しくなり採択数の減少が危惧される状況である。

オペラハウス合唱団出張演奏

●要旨

大学主催オペラへの出演及び依頼演奏会への出張演奏を行う。

●成果及び達成度

2020年度以降実質4年間以上自主公演、大学主催オペラへの出演及び依頼演奏会等すべての演奏活動を実施していない。

●今後の展望

前年度事業報告でも記述したが、事実上4年間以上演奏活動を実施しておらず、またマネージャー等運営スタッフも選任されていないため名目上だけの団体となっている。登録メンバーの高齢化も進んでおり、今後合唱団として存続運営するのであれば再編成が必要となる。

【4】付属音楽院

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い感染症対策を各自の任意で行うこととした。通常の運営に戻り、受講生の数はコロナ以前の状態まで回復した。

音楽院の進学コース、マンツーマンレッスンコースから以下のとおり進学者を輩出し、未来の音楽家育成に貢献できたと考える。

- ・大阪音楽大学 27人
- ・大阪音楽大学短期大学部 3人
- ・大阪音楽大学大学院 2人
- ・大阪府立夕陽丘高等学校 5人
- ・同志社女子大学音楽科 1人
- ・武庫川女子大学 1人

2024年度についても受講生の満足度を上げ、進学者獲得に力を入れていく。

進学コース充実、改革のための事業

●要旨

進学コースに在籍する受講生に特典（入学お祝い金、音楽院賞、特別給付奨学金の贈呈）を付与し、音楽・芸術系大学を目指す受験生の育成を図る。

●成果及び達成度

対面クラス28人、Webクラス3人が在籍し、そのうちの19人が2024年4月に本学に、1人が他大学に入学した。

入学お祝い金を支給（実技クラス：3人、音楽基礎科目クラス：5人、実技クラス・音楽基礎科目クラス両受講：10人）、音楽院賞を贈呈（実技優秀賞：該当者無、実技奨励賞：3人、音楽基礎科目優秀賞：1人）、特に優れた成績を収めた受講生に贈られる特別給付奨学金については該当者無しであった。

●今後の展望

各学年10人、総勢30人の在籍者を目標に掲げ、入学前に十分な能力を身に付けてもらえるよう、カリキュラムも一層工夫し、見直していく。

キッズ・ジュニアコースの充実

●要旨

未来の音楽家を育成するため、ジュニア・オーケストラとザ・カレッジ・オペラハウス少年少女合唱団を新たに立ち上げ、3年目に入った。

●成果及び達成度

ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団は、定期演奏会の他に外部演奏会に出演するなど活動の幅を広げた。第3回目のジュニア・オーケストラとの合同定期演奏会は約450人が来場し好評を博した。

[定期演奏会・外部演奏会]

- ・2023年10月14日 ニフレル×ファミリア コラボイベント「ARCHIVE MARKET～ともにふれる～」出演（依頼演奏）[合唱団]
- ・2023年12月17日 リッツカールトン大阪にて依頼演奏[合唱団]
- ・2024年3月20日 第3回合同定期演奏会[合唱団・ジュニア・オーケストラ]

●今後の展望

依頼演奏や外部演奏会への積極的な出演を目標に掲げ、コンクールなども視野に入れて活動していく。

動画配信事業

●要旨

レッスンや演奏などを主とした動画を音楽院公式YouTubeにアップロードし、大学教員や音楽院の広報宣伝を図る。

●成果及び達成度

これまでに YouTube に 340 本の動画をアップロードした。チャンネル登録者は 5,962 人となっている。本学教員や音楽院講師による演奏や指導動画など、多様な角度から大阪音楽大学の広報活動を展開できたと考える。

●今後の展望

チャンネル登録者 10,000 人を目標とし、動画を主とした広報展開を試みる。

オリジナルグッズ販売事業

●要旨

弦楽器の廃棄弦を再利用 (SDGs) したアクセサリー「Re:string」を作成。ピアス、イヤリング、ネックレスなど 3 種類を販売。売上の全額を、こどものためのコンサート開催の運営費に充てる。

●成果及び達成度

これまでに 74 個を販売した。

●今後の展望

年間販売数 100 個を目指す。0 歳から入場できるコンサートを年間 2 回実施し、こどもたちに生演奏を低価格で提供していく。

C 法人組織運営事業

【1】広報活動

本学の取組みに関する効果的な情報発信を目指し、時代に合わせた各種媒体・機会の活用による広報展開を昨年度に引き続き行い、今年度も Web 上での広報展開を強化した。

本法人ホームページや SNS では、視覚に訴えるべく動画や写真を積極的に活用した。2024 年度に短大に新設する音響照明コースなどの広報を中心に各専攻・コースの魅力、取り組みを Web 媒体、動画などで広くアピールした。

広告においては、ターゲットを絞った Web 広告の活用を中心に、時代に合わせた広報を展開した。

その他、広報誌を紙面から Web にリニューアルした Web マガジンでは、従来よりも幅広い層へのアプローチを行った。また、リーフレット・チラシなどの紙媒体、イベント出演、マスメディアへの掲出など各種媒体、機会の活用により、本学の社会的認知度と好感度の向上を図り、ブランド力の強化に努めた。

「大学ブランド力」強化を目的とした広報活動について

●要旨

本学各専攻・コースの認知度及びイメージ向上を図る広報活動を通じ、建学の精神、教育理念を社会に発信し、本学の存在感を高めブランド力強化に結び付ける。

●成果及び達成度

前年に引き続き、広報媒体や宣伝機会ごとの特性に応じた多角的な情報発信に努めた。今年度も引き続き Web 上での広報展開に力を入れるべく、SNS や Web 広告を中心とした広報展開、広報誌を紙面から Web にリニューアルした Web マガジンの活用、ニュースリリースの Web 媒体への配信など、Web 上での情報発信を積極的に行い、本学ホームページへの流入数確保と、より本学に関心のある層を流入させることへとつなげた。また、2024 年度短大に開設する音響照明コースの広報を通して、従来の層よりも幅広い層からの反応を得ることができ、歴史と伝統を尊重しながらも、時代の変化に対応する本学の姿を広く社会に印象付けることができた。

●今後の展望

様々な機会や媒体を活用して、本学の新たな取り組み及び各専攻・コースや教員の魅力を社会に発信し、創立以来 100 年を超える歴史と伝統の上に新たな大学・短大のブランドを構築し、入試広報にもつなげていくものとする。

【2】施設・設備

SDGs への取り組みを意識しつつ施設・設備の適切な維持保全を計画的に進め、省エネ・老朽化対策工事を実施した。また、短大における新たなコース・クラスの開設に向けた設備導入を進めるとともに、近年教育現場に求められる ICT 環境を整えた教室を整備する等、新たな教育環境の充実に努めた。

既存施設設備のリニューアル工事

●要旨

既存施設設備に対する経年劣化対策を順次行うことで施設設備の維持・充実に努めた。また、ICT に対応した教室の機能拡充・向上を図る等、新たな需要に応じた教育環境を整備した。

●成果及び達成度

実施した主な改修・整備工事は以下のとおりである。

- ・ A 号館空調冷媒配管の更新
- ・ A 号館 414 教室映像操作機器の更新
- ・ B 号館受水槽の改修
- ・ B 号館 102 及び 206 教室映像操作機器の更新
- ・ D 号館受水槽の改修
- ・ D 号館照明 LED 化
- ・ F 号館 109 教室 ML (ミュージックラボラトリー) システムの更新
- ・ F 号館 212 教室の PC リブレース
- ・ J 号館屋上防水・外壁塗装
- ・ J 号館キュービクル更新
- ・ P 号館照明 LED 化
- ・ 付属幼稚園玄関他カーペット張り替え
- ・ 付属幼稚園トイレ全面改修
- ・ 付属幼稚園園舎軒裏改修・園庭廊下防水工事

●今後の展望

中長期的な保全計画を立てて財政負担の平準化を図りつつ、施設設備の維持保全及び新たな需要を見据えた教育環境の整備・充実に努める。

【3】法人の運営

新型コロナウイルス感染症の分類が「5 類感染症」へと移行されたことに伴い、2023 年 5 月 8 日以降は通常の大学運営へと切り替えた一方、演奏会等の実施に関し基本的感染対策は重要と位置づけ、関係各位の理解・協力を求めながら滞りなく開催した。

中期事業計画 (2021 年度～2025 年度) に沿い、2024 年度に開設を決定した短大・音響照明コースについては機材の確保、外部ライブハウスとの調整、担当教員の充実に努める等、修業年限 2 年の中で、幅広いジャンルの音楽に対応できる音楽エンジニアの育成を可能とする教育環境の整備に努めた。

私立学校法の改正に対応した寄附行為の作成に着手、2024 年 3 月開催の理事会・評議員会に素案を上程し、施行日までに十分な協議を行い理解が深まるようスケジュールを設定した。基幹システムの再構築に際し、導入コスト

の圧縮及びシステムを有効活用できるよう業務フローなど運用面からも見直しを行った。

今年度は理事会を4回、評議員会を3回開催した。理事会において決定した学校法人の業務及び理事長の職務を円滑に遂行するために、常任理事会を17回開催し、延べ107件の議題を審議した。役員及び役職者等の意思疎通と連絡調整を目的とする執行部連絡協議会を2回開催した。今年度の教職員の総数は658人（平均年齢49.2歳）であった。内訳は、専任教員は55人〔大学37人・短大18人（平均年齢54.9歳）、附属音楽幼稚園教諭14人（平均年齢31.4歳）〕、専任職員72人（平均年齢41.6歳）、非常勤教員487人（平均年齢50.3歳）、非常勤職員30人（平均年齢48.2歳）であった。年度中に60人（専任教員5人、専任教諭4人、専任職員7人、非常勤教員42人、その他2人）が退職した。

専攻・コース改編による将来構想

●要旨

2024年度より改編を行うことを決定した次の大学の専攻、短大のコースにおいて、各担当教員及び関連する事務部門が連携をとり必要な準備に着手した。

- ・短期大学部音楽科に新コース「音響照明コース」を開設
- ・大学音楽学部ミュージックコミュニケーション専攻を「地域創生ミュージックマネジメント専攻」に改称

●成果及び達成度

カリキュラム構築、教員配置、教室の候補選定など改編に向けた具体的な検討に着手した。また、高校生への周知のための広報物制作をはじめ、イベントや宣伝など広報を実施、入学者選抜を行った。

●今後の展望

音楽に関連する新しい領域の学びを適切に展開し、これからの音楽大学の教育の在り方を確立していく。

Ⅲ 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位:千円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
固定資産	16,261,223	15,137,731	14,684,253	14,240,018	13,952,277
流動資産	608,269	1,213,610	1,111,017	905,064	824,639
資産の部合計	16,869,492	16,351,342	15,795,270	15,145,082	14,776,916
固定負債	2,436,645	2,278,230	2,111,718	1,988,794	1,820,957
流動負債	257,995	254,897	279,077	255,146	279,528
負債の部合計	2,694,640	2,533,127	2,390,795	2,243,940	2,100,485
基本金	17,974,228	17,939,597	18,062,494	18,079,606	18,128,629
繰越収支差額	-3,799,376	-4,121,383	-4,658,019	-5,178,464	-5,452,198
純資産の部合計	14,174,852	13,818,215	13,404,475	12,901,142	12,676,431
負債及び純資産の部合計	16,869,492	16,351,342	15,795,270	15,145,082	14,776,916

※四捨五入の関係で計算式と合致しない箇所があります。

イ) 財務比率の経年比較

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	96.4	92.6	93.0	94.0	94.4
固定資産の総資産に占める構成割合で、流動資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標。						
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	235.8	476.1	398.1	354.7	295.0
流動負債に対する流動資産の割合。学校法人の資金流動性すなわち短期的な支払能力を判断する指標。						
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.0	15.5	15.1	14.8	14.2
固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合で、総資産に対する他人資金の比重を評価する比率。						
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	573.3	1370.0	1052.4	876.6	851.2
前受金と現金預金との割合で、当該年度に収受している翌年度分の入学金等が、翌年度繰越支払資金たる現金預金の形で当該年度末に適切に保有されているかを測る比率。						
特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	27.2	25.7	25.1	25.0	25.3
特定資産の総資産に占める構成割合で、各種引当特定資産などの長期にわたって特定の目的のために保有する金融資産の蓄積状況を評価する指標。						

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

収入の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学生生徒等納付金収入	2,182,814	2,150,453	2,140,928	2,173,833	2,228,416
手数料収入	17,166	16,205	17,763	18,374	16,929
寄付金収入	11,000	110	0	0	566
補助金収入	206,354	220,713	251,257	300,826	298,471
資産売却収入	103,623	479,927	105,164	120,954	154,160
付随事業・収益事業収入	170,080	111,234	140,642	165,522	169,359
受取利息・配当金収入	108,793	91,696	83,904	104,089	110,651
雑収入	237,479	171,009	218,015	203,008	264,567
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	89,060	82,660	87,270	93,360	84,560
その他の収入	2,178,801	1,104,863	1,234,966	916,409	939,753
資金収入調整勘定	-177,209	-157,170	-162,697	-164,229	-188,190
前年度繰越支払資金	530,632	510,584	1,132,455	918,470	818,428
収入の部合計	5,658,593	4,782,283	5,249,667	4,850,616	4,897,670

支出の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
人件費支出	1,836,605	1,728,513	1,863,241	1,904,684	1,988,178
教育研究経費支出	731,694	786,615	817,861	825,498	846,368
管理経費支出	332,065	297,659	283,895	299,930	323,424
借入金等利息支出	6,227	5,701	5,249	4,788	4,313
借入金等返済支出	100,720	98,220	98,220	98,220	95,720
施設関係支出	116,463	85,109	144,612	176,948	12,480
設備関係支出	100,501	42,677	89,237	45,994	102,827
資産運用支出	1,416,222	112,990	511,080	164,733	245,947
その他の支出	549,575	533,523	574,155	545,036	640,311
資金支出調整勘定	-42,062	-41,179	-56,353	-33,643	-81,676
翌年度繰越支払資金	510,584	1,132,455	918,470	818,428	719,778
支出の部合計	5,658,593	4,782,283	5,249,667	4,850,616	4,897,670

※四捨五入の関係で計算式と合致しない箇所があります。

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,824,371	2,641,403	2,760,660	2,860,597	2,970,321
教育活動資金支出計	2,900,364	2,812,786	2,964,997	3,030,112	3,157,970
差引	-75,993	-171,383	-204,337	-169,515	-187,649
調整勘定等	-12,912	45,983	-22,934	-12,899	20,096
教育活動資金収支差額	-88,904	-125,400	-227,271	-182,414	-167,553
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	520,080	141,343	245,109	255,723	112,147
施設整備等活動資金支出計	566,939	227,786	333,849	273,177	214,797
差引	-46,859	-86,443	-88,740	-17,454	-102,650
調整勘定等	0	-35,060	28,871	0	1,099
施設整備等活動資金収支差額	-46,859	-121,503	-59,869	-17,454	-101,551
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	-135,763	-246,903	-287,140	-199,868	-269,104
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,804,382	1,471,133	1,119,011	806,704	1,023,360
その他の活動資金支出計	1,688,215	601,933	1,046,282	706,878	852,907
差引	116,167	869,200	72,729	99,826	170,453
調整勘定等	-451	-426	426	0	0
その他の活動資金収支差額	115,716	868,774	73,155	99,826	170,453
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	-20,047	621,871	-213,985	-100,042	-98,651
前年度繰越支払資金	530,632	510,584	1,132,455	918,470	818,428
翌年度繰越支払資金	510,584	1,132,455	918,470	818,428	719,778

ウ) 財務比率の経年比較

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
教育活動資金 収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	-3.1	-4.7	-8.2	-6.4	-5.6

教育活動資金収支差額の教育活動収入に占める割合を示し、学校法人における本業である「教育活動」でキャッシュフローが生み出せているかを測る比率。

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

	科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,182,814	2,150,453	2,140,928	2,173,833	2,228,416
	手数料	17,166	16,205	17,763	18,374	16,929
	寄付金	11,000	110	1,666	0	50,929
	経常費等補助金	205,832	194,078	243,312	299,859	290,484
	付随事業収入	170,080	111,234	140,642	165,522	169,359
	雑収入	237,479	169,323	218,015	203,008	264,567
	教育活動収入計	2,824,371	2,641,403	2,762,326	2,860,596	3,020,684
	事業活動支出の部					
	人件費	1,778,542	1,668,317	1,794,949	1,877,479	1,894,774
	教育研究経費	1,039,590	1,095,964	1,128,192	1,143,866	1,168,749
	管理経費	362,154	334,801	319,385	336,028	359,541
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	3,180,286	3,099,082	3,242,526	3,357,374	3,423,064
教育活動収支差額	-355,915	-457,679	-480,200	-496,777	-402,380	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	108,794	91,696	83,904	104,089	110,651
	その他の教育活動外収入	0	1,686	0	0	0
	教育活動外収入計	108,794	93,381	83,904	104,089	110,651
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	6,227	5,701	5,249	4,788	4,313
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	6,227	5,701	5,249	4,788	4,313
	教育活動外収支差額	102,567	87,680	78,655	99,301	106,338
	経常収支差額	-253,348	-369,999	-401,545	-397,476	-296,042
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	37,210	60,229	4,657	5,194	63,350
	その他の特別収入	36,374	34,254	10,894	3,016	8,660
	特別収入計	73,584	94,483	15,551	8,210	72,010
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	216,887	80,694	27,745	114,066	622
	その他の特別支出	0	427	0	0	57
	特別支出計	216,887	81,121	27,745	114,066	679
	特別収支差額	-143,303	13,361	-12,194	-105,856	71,331
	基本金組入前当年度収支差額	-396,651	-356,638	-413,739	-503,333	-224,711
基本金組入額合計	-94,049	0	-122,897	-17,112	-49,023	
当年度収支差額	-490,701	-356,638	-536,636	-520,445	-273,734	

前年度繰越収支差額	-3,308,675	-3,799,376	-4,121,383	-4,658,019	-5,178,464
基本金取崩額	0	34,631	0	0	0
翌年度繰越収支差額	-3,799,376	-4,121,383	-4,658,019	-5,178,464	-5,452,198
(参考)					
事業活動収入計	3,006,749	2,829,267	2,861,781	2,972,895	3,203,345
事業活動支出計	3,403,400	3,185,905	3,275,520	3,476,228	3,428,056

※四捨五入の関係で計算式と合致しない箇所があります。

イ) 財務比率の経年比較

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	74.4	78.6	75.2	73.3	71.2
学生生徒等納付金の経常収入に占める割合。学生生徒等納付金は、学生生徒等の増減並びに納付金の水準の高低の影響を受けるが、学校法人の帰属収入の中で最大の割合を占めており、補助金や寄付金と比べて外部要因に影響されることが少ない重要な自己財源であることから、この比率が安定的に推移することが望ましい。						
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.6	61.0	63.1	63.3	60.5
人件費の経常収入に占める割合。						
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	35.4	40.1	39.6	38.6	37.3
教育研究経費の経常収入に占める割合。教育研究経費には消耗品費、光熱水費、旅費交通費、委託費、修繕費等の各種支出に加え教育研究用固定資産に係る減価償却額が含まれている。						
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	12.3	12.2	11.2	11.3	11.5
経常収入に対する管理経費の占める割合。管理経費は教育研究活動以外の目的で支出される経費であり、学校法人の運営のため、ある程度の支出は止むを得ないものの、比率としては低い方が望ましい。						
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	6.9	7.8	8.8	10.1	7.8
国又は地方公共団体の補助金の事業活動収入に占める割合。 補助金: 経常費等補助金+施設設備補助金						

(2) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

資金収入の合計は 4,897,670 千円で、主な科目の内訳は、学生生徒等納付金収入 2,228,416 千円、補助金収入 298,471 千円、付随事業・収益事業収入 169,359 千円、前受金収入 84,560 千円である。資金支出の合計は 4,897,670 千円で、主な科目の内訳は、人件費支出 1,988,178 千円、教育研究経費支出 846,368 千円、管理経費支出 323,424 千円、資産運用支出 245,947 千円である。2023年度の翌年度繰越支払資金は 719,778 千円となり、前年度繰越支払資金より 98,650 千円減少した。

教育活動収入計は本業である教育活動に係る収入で、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入の合計で 3,020,684 千円であり、学生生徒等納付金比率は 71.2 パーセントとなる。教育活動支出計は人件費（退職給与引当金繰入額を含む）、教育研究経費（減価償却額を含む）、管理経費（減価

償却額を含む)等の合計で、3,423,064千円であり、人件費比率は60.5パーセントとなる。教育活動支出計が教育活動収入計を上回った結果、教育活動収支差額が402,380千円の支出超過、教育活動外収支差額は106,338千円の収入超過、経常収支差額は296,042千円の支出超過となった。特別収支差額は71,331千円の収入超過となり、基本金組入前当年度収支差額は224,711千円の支出超過となった。基本金組入額は49,023千円となり、前年度までの支出超過累積額5,178,464千円を差し引きし、翌年度繰越収支差額は5,452,198千円の支出超過となった。

貸借対照表上の2024年3月31日における財政状態は、資産14,776百万円、負債2,100百万円となっている。

(詳細については2023年度決算説明をご参照ください。)

▼2023年度 法人の動き

日付	内容	場所
< A. 教育・研究事業 >		
2023年4月1日	新入生保護者対象キャリア支援ガイダンス	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年4月5日	陸上自衛隊 中部方面音楽隊 演奏・施設見学	陸上自衛隊伊丹駐屯地
2023年4月5日	教員採用試験説明会【豊能地区】	キャリア支援センター
2023年4月5日	音楽幼稚園 第56回入園式	音楽幼稚園
2023年4月7日	教員採用試験説明会【大阪府】	キャリア支援センター
2023年4月8日	春の無料体験会	大阪音楽大学 第一キャンパス
2023年4月11日	神戸市・堺市 消防音楽隊採用説明会	O号館103教室
2023年4月13日	教員採用試験説明会【神戸市】	キャリア支援センター
2023年4月17日	教職支援室ってどんなところ？ [他 4/25] (計2回)	H号館202教室(教職支援室)
2023年4月17日	名刺講座 [他 4/20、以降も開催あり]	H号館322教室(日本語ライティング支援室)
2023年4月18日	教員採用試験説明会【兵庫県】	キャリア支援センター
2023年4月19日	教員採用試験説明会【大阪府】	オンライン開催
2023年4月19日	カワイ音楽教室 講師採用説明会	A号館305教室
2023年4月20日	教員採用試験説明会【堺市】	キャリア支援センター
2023年4月24日	教授会①	会議室
2023年4月24日	アンドレイ・ガヴリーロフ氏による特別講義[他 4/25]	ミレニアムホール
2023年4月26日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)①「前期 就職ガイダンス」(リクナビ主催)	B号館102教室
2023年4月28日	大学3年生対象 進路ガイダンス	F号館215教室
2023年5月10日	教員採用試験対策 小論文対策	教職支援室
2023年5月10日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)②「夏インターンシップエントリーシート対策セミナー」(マイナビ主催)	B号館102教室
2023年5月11日	キャリアトーク(先輩と話そう)① 留学&音楽教室講師編	キャリア支援センター
2023年5月16日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)特別版「就活リスタート講座」(ミュージキャリア主催)	オンライン開催
2023年5月17日	中村恵理客員教授 声楽公開レッスン	ミレニアムホール
2023年5月17日	韓国語講座 [他 5/24、31、6/7、14、21、28、7/5、12、19] (計10回)	B号館101教室
2023年5月19日	第1回ミレニアムピアノコンサート【他 第2回6/13、第3回7/19、第4回9/15、第5回10/6、第6回11/2、第7回12/11】	ミレニアムホール
2023年5月20日	ザ・カレッジ・オペラハウス少年少女合唱団無料体験会	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年5月22日	教授会②	会議室
2023年5月22日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)③「業界・職種セミナー」(あさがく主催)	A号館305教室
2023年5月23日	高尾和孝氏によるサクソフーン解説 特別講義	O号館101教室
2023年5月23日	第1弾！エンターテイナーの為のオーディション対策セミナー	B号館102教室
2023年5月23日	第75回ミレニアム・スチューデント・コンサート 第1夜 【他 第75回第2夜5/24、第3夜5/25、第76回第1夜6/14、第2夜6/15、第3夜6/16】	ミレニアムホール
2023年5月24日	天野正道氏 吹奏楽コンクール課題曲「レトロ」作曲家本人によるアナリーゼ及び合奏指導	O号館101教室
2023年5月30日	ギリアード・ミシヨリ氏 ピアノ特別講義	ミレニアムホール
2023年6月1日	ヤマハ音楽能力検定 ピアノ演奏グレード5級取得準備講座 [他 6/8、15、22] (計4回)	B号館205教室
2023年6月2日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)④「SPI性格検査受験会」(リクナビ主催)	F号館212教室
2023年6月7日	鈴木央紹特任准教授 ジャズ特別講義	K号館401教室
2023年6月10日	上村昇客員教授 チェロ特別講義[他 6/24]	O号館103教室
2023年6月13日	AILI氏 ポピュラー特別講義	K号館507教室
2023年6月13日	ピエール・モンティ氏 作曲特別講義[他 6/15・21・22・23]	P号館107教室

▼2023年度 法人の動き

日付	内容	場所
2023年6月19日	キャリアトーク(先輩と話そう)② 企業カブコン編	キャリア支援センター
2023年6月20日	第2弾！エンターテイナーの為のオーディション対策セミナー	体育館
2023年6月22日	福川伸陽客員教授 ホルン特別講義	O号館103教室
2023年6月22日	パソナ音楽島説明会	キャリア支援センター・体育館
2023年6月24日	宮川智希氏 特別講義 Synthesizer Vについての解説と実践	ミレニアムホール
2023年6月26日	教授会③	会議室
2023年6月30日	神戸市学校スクールサポーター 説明会	キャリア支援センター
2023年7月3日	教員採用試験対策ガイダンス (東京アカデミー)	F号館215教室
2023年7月4日	大阪府警察音楽隊	O号館103教室
2023年7月7日	ヤマハミュージックレッズン セミナー(※コラボレート・スタジオ【福榮教員】内 他専攻生聴講可)	K号館507教室
2023年7月9日	大阪音楽大学吹奏楽団 サマー・コンサート2023	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年7月14日	And Vision主催 音楽留学セミナー [他 2/16] (計2回)	B号館101教室
2023年7月17日	教授会④	会議室
2023年7月17日	キャリアトーク(先輩と話そう)③ 教員編	キャリア支援センター
2023年7月21日	大阪音楽大学管弦楽団 サマー・コンサート2023	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年7月22日	進学コース無料体験会	大阪音楽大学 第一キャンパス
2023年7月24日	佐美秀俊特任准教授 Finaleスペシャルセミナー[他 7/25]	A号館301教室
2023年8月2日	音楽系企業 見学ツアーin東京 [他 8/3] (計2日間)	東京ランチ他
2023年8月17日	株式会社コロプラ採用説明会	オンライン開催
2023年8月19日	進学コース無料体験会	大阪音楽大学 第一キャンパス
2023年8月28日	進学コース前期実技試験 兼 進学実技適性テスト音楽院区分	大阪音楽大学 第二キャンパス
2023年9月9日	進学コース無料体験会	大阪音楽大学 第一キャンパス
2023年9月11日	ヨズア・バルチュ氏 声楽特別講義	A号館304教室
2023年9月14日	カルロ・コロンバーラ氏による声楽特別講義	ミレニアムホール
2023年9月16日	フローラン・エオー客員教授によるクラリネット特別講義	O号館202教室
2023年9月16日	カワイピアノグレード6級 学内認定特別講習	F号館313教室
2023年9月21日	ヤマハ音楽能力検定 指導グレード5級トライアル講座	B号館205教室
2023年9月22日	短大1年生対象 進路ガイダンス	F号館434教室
2023年9月25日	教授会⑤	会議室
2023年9月25日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑤「後期 就職ガイダンス」(マイナビ主催)	B号館206教室
2023年9月30日	The伴奏法	大阪音楽大学 第一キャンパス
2023年10月4日	キャリアトーク(先輩と話そう)④ エンタメ企業編	キャリア支援センター
2023年10月5日	ヤマハ音楽能力検定 指導グレード5級取得準備講座 [他 10/12、19、26、11/2、9、16] (計7回)	B号館205教室
2023年10月8日	音楽幼稚園 第57回運動会	音楽幼稚園
2023年10月11日	音楽教室起業セミナー	B号館101教室
2023年10月13日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑥「業界・職種理解セミナー」(あさがく主催)	A号館305教室
2023年10月18日	第77回ミレニアム・スチューデント・コンサート 第1夜【他 第77回第2夜10/19、第3夜10/20、第78回第1夜11/13、第2夜11/14】	ミレニアムホール
2023年10月20日	第43回(春期)インターンシップ説明会	B号館101教室
2023年10月23日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑦「SPI性格検査受験会」(リクナビ主催)	F号館212教室
2023年10月24日	松本健司氏によるクラリネット特別講義	O号館202教室
2023年10月27日	J. ロイシュナー氏 公開レッスン	F号館510教室

▼2023年度 法人の動き

日付	内容	場所
2023年10月27日	ヤマハミュージックレッスン セミナー(※コラボレート・スタディ【中田教員】内 他専攻生聴講可)	K号館507教室
2023年10月28日	キャリア支援(進路・就職)に関する保護者対象 説明会・懇談会	ミレニアムホール
2023年10月30日	新田幹男氏 特別講義	O号館101教室
2023年10月30日	教授会⑥	会議室
2023年10月31日	藤野ゆかり氏 特別講義	F号館434教室
2023年11月6日	呉信一氏 特別講義	O号館101教室
2023年11月6日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑧「エントリーシート対策セミナー」(マイナビ主催)	B号館206教室
2023年11月9日	長井芽乃氏 特別講義 ～はじめてのボディ・マッピング～	O号館202教室
2023年11月10日	第35回ザ・コンチェルト・コンサート	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年11月13日	任天堂株式会社 学内セミナー【サウンド制作】	B号館206教室
2023年11月14日	AILI氏 特別講義	K号館507教室
2023年11月15日	キャリアトーク(先輩と話そう)⑤ 音楽系企業編	キャリア支援センター
2023年11月18日	関西学院グリークラブ・宝塚音楽学校・大阪音楽大学ドリームコーラスコンサート	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年11月20日	教授会⑦	会議室
2023年11月21日	大阪音楽大学大学院 定期演奏会2023	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年11月24日	第46回邦楽演奏会	ミレニアムホール
2023年11月27日	宮川彬良氏 特別講義 「音楽って、何すか？」	F号館510教室
2023年11月27日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑨「面接対策セミナー」(あさがく主催)	B号館206教室
2023年12月1日	グヤーシュ・マルタ氏 特別講義	ミレニアムホール
2023年12月2日	大阪音楽大学 第66回定期演奏会	ザ・シンフォニーホール
2023年12月2日	音楽幼稚園 作品展「キッズミュージアム」	音楽幼稚園
2023年12月4日	株式会社カプコン 会社説明会「サウンドの創り方」	K号館420教室
2023年12月4日	教員採用試験説明会【堺市】	キャリア支援センター
2023年12月8日	教員採用試験説明会【大阪市】	キャリア支援センター
2023年12月11日	教員採用試験説明会【豊能地区】	キャリア支援センター
2023年12月14日	アラン・ゴースン氏 作曲特別講義[他 12/15]	P号館107教室
2023年12月15日	就活メイク講座 [他 2/9] (計2回)	F号館215教室
2023年12月15日	証明写真撮影会 [他 2/9] (計2回)	ばうぜ特別室
2023年12月16日	村上健氏 ALアートワーク・デザイン特別講義	A号館301教室
2023年12月18日	綿貫正顕氏 ギター・チューンナップ特別講義 ～ギター本来の音を取り戻せ！～	A号館302教室
2023年12月18日	教授会⑧	会議室
2023年12月22日	第3回 NEXT DESIGN 大阪音楽大学短期大学部 作曲デザイン・コース・コンサート	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年12月26日	キャリアトーク(先輩と話そう)特別編 自衛隊音楽隊	キャリア支援センター
2024年1月10日	ラフィー・ベサリアン氏 公開レッスン	F号館112教室
2024年1月10日	神戸市役所採用説明会 デザイン・クリエイティブ枠	D号館101教室
2024年1月13日	上村昇客員教授 チェロ特別講義[他 1/20]	O号館103教室
2024年1月13日	第56回合唱発表会	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年1月15日	教員採用試験説明会【兵庫県】	オンライン開催
2024年1月18日	ヤマハ音楽教室講師採用説明会《2025年度募集》	A号館305教室
2024年1月18日	株式会社コロプラ採用説明会(サウンドクリエイター職)	K号館420教室
2024年1月21日	大阪音楽大学 第32回電子オルガン・コンサート	ミレニアムホール

▼2023年度 法人の動き

日付	内容	場所
2024年1月22日	教授会⑨	会議室
2024年2月1日	ヨズア・バルチュ氏 声楽特別講義	A号館414教室
2024年2月9日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑩「就活直前総まとめ」(リクナビ主催)	A号館305教室
2024年2月9日	キャリアトーク(先輩と話そう)⑥ 進路決定&内定者編	キャリア支援センター
2024年2月9日	就活メイク講座 [他 2/9] (計2回)	F号館215教室
2024年2月9日	証明写真撮影会 [他 2/9] (計2回)	ぼうぜ特別室
2024年2月10日	第35回大阪音楽大学学生オペラ「フィガロの結婚」第1日【他 第2日2/11】	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年2月14日	大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 ジャズ・コンサート	常翔ホール
2024年2月15日	不安を話そう 卒業後を考える会 (就労移行支援所atGPジョブトレ梅田)	キャリア支援センター
2024年2月17日	2023年度大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 ポピュラー・ミュージック・コンサート	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年2月19日	教授会⑩	会議室
2024年2月19日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑪「模擬面接講座(集団面接)」(あさがく主催B号館102教室)	B号館102教室
2024年2月21日	【企業就職志望者対象】MIRAIセミナー(就職対策)⑫「模擬面接講座(グループディスカッション)」(マイナビ主催)	B号館102教室
2024年2月24日	音楽幼稚園 発表会「たのしみまショー」	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年2月26日	大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 第21回 ザ・ストリング・コンサート	常翔ホール
2024年3月2日	大阪音楽大学 第55回吹奏楽演奏会	ザ・シンフォニーホール
2024年3月5日	Illustrator & photoshop 講座 [他 3/6,7,11,12] (計5日間)	F号館213教室
2024年3月9日	2023年度 大阪音楽大学短期大学部 ミュージカル・コース DAIONミュージカル 第13回公演①②【他 ③④3/10、⑤3/11】	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年3月13日	教員採用試験 筆記試験対策 教職教養対策講座 [他 3/14、15] (3日間)	F号館215教室
2024年3月13日	2023年度 大阪音楽大学短期大学部 卒業演奏会	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年3月13日	2023年 度大阪音楽大学 卒業演奏会 第1日【他 第2日3/14、第3日3/15】	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年3月16日	ミュージックカーニバル①	ミレニアムホール
2024年3月17日	ミュージックカーニバル②	ミレニアムホール
2024年3月17日	2023年度 大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 ジュニア吹奏楽団演奏会	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年3月19日	音楽幼稚園 第57回卒園式	音楽幼稚園
2024年3月20日	ミュージックカーニバル③	ミレニアムホール
2024年3月20日	第3回ザ・カレッジ・オペラハウス少年少女合唱団&ザ・カレッジ・オペラハウスジュニアオーケストラ定期演奏会	ザ・カレッジ・オペラハウス
2024年3月26日	教授会⑪	会議室
2024年3月29日	進学コース後期公開実技試験・修了コンサート	ミレニアムホール

<B. 社会連携事業>

2023年4月8日	常翔学園・大阪音楽大学 連携協定記念プロジェクト[常翔ロビーコンサート] 【他 4/8、5/13、6/10、7/8、8/5、9/9、10/14、11/11、12/23、1/13、2/24、】	OIT梅田タワー1階
2023年6月5日	豊中市「サウンドスクール事業」豊中市立箕輪小学校 [他 6月～3月まで、こども園12件、小学校59件、中学校16件、義務教育高校6件]	豊中市内こども園、小学校・中学校
2023年6月18日	赤松林太郎ピアノ・リサイタルwith坂本彩	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年6月24日	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 第62回定期演奏会	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年7月24日	バッハのアレコレ	大阪音楽大学 第一キャンパス
2023年7月30日	女声コーラスコンサート2023	ミレニアムホール
2023年8月26日	0歳からのファミリーコンサート&大人の為のコンサート	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年9月2日	進学実技適性テスト(作曲、Cr)	大阪音楽大学内
2023年9月3日	進学実技適性テスト(作曲、Cr以外)	大阪音楽大学内
2023年9月5日	大阪音楽大学開放講座「音楽・心の旅」[他 10/15]	豊中市立中央公民館

▼2023年度 法人の動き

日付	内容	場所
2023年9月8日	大学3年次編入推薦・短大専攻科特別入学者選抜	大阪音楽大学内
2023年9月16日	J.S.Bachの響き(レクチャーコンサート)	ミレニアムホール
2023年9月30日	大学院入学者選抜前期日程	大阪音楽大学内
2023年10月1日	第11回 豊中こども音楽フェスティバル	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年10月1日	大学院入学者選抜前期日程	大阪音楽大学内
2023年10月21日	大学・短大 総合型選抜	大阪音楽大学内
2023年10月22日	大学・短大 総合型選抜	大阪音楽大学内
2023年10月27日	けやきの森市民大学 大阪音楽大学公開講座「音楽の宝箱」[他 11/10、11/17、12/1]	高槻市生涯学習センター
2023年10月29日	第8回 豊中音楽コンクール 受賞者記念コンサート	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年11月5日	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 第63回定期演奏会	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年11月12日	オペラハウスで歌おう	ザ・カレッジ・オペラハウス
2023年11月29日	大学・短大 学校推薦型選抜[在学生立入禁止]	大阪音楽大学内
2023年11月30日	大学・短大 学校推薦型選抜[在学生立入禁止]	大阪音楽大学内
2024年2月5日	大学・短大 一般選抜	大阪音楽大学内
2024年2月6日	大学・短大 一般選抜	大阪音楽大学内
2024年2月7日	大学・短大 一般選抜	大阪音楽大学内
2024年2月8日	大学・短大 一般選抜	大阪音楽大学内
2024年2月14日	学3編入一般入学者選抜	大阪音楽大学内
2024年2月15日	学3編入一般・短専・大専入学者選抜	大阪音楽大学内
2024年2月25日	声楽合同発表会①	ミレニアムホール
2024年3月1日	大学院入学者選抜前期日程	大阪音楽大学内
2024年3月2日	大学院入学者選抜前期日程	大阪音楽大学内
2024年3月3日	声楽合同発表会②	ミレニアムホール
2024年3月10日	器楽合同発表会①	ミレニアムホール
2024年3月18日	大学・短大 後期総合型選抜[在学生立入禁止]	大阪音楽大学内
2024年3月30日	器楽合同発表会②	ミレニアムホール
2024年3月31日	ピアノ・アンサンブル コンサート	ミレニアムホール

<C. 法人組織運営事業>

2023年5月24日	第1回理事会	会議室
2023年5月31日	第1回評議員会	B号館102教室
2023年11月16日	第2回評議員会	会議室
2023年11月20日	第2回理事会	A号館305教室
2024年1月25日	第3回理事会	会議室
2024年3月18日	第3回評議員会	F号館215教室
2024年3月19日	第4回理事会	A号館305教室